

平成 2 3 年度事業報告



Hiroshima Industrial Promotion Organization

公益財団法人ひろしま産業振興機構

目 次

〔平成23年度事業報告〕

平成23年度決算額の概要（事業体系）	1
1 創業・新事業創出等の促進	
（1）事業化の支援	2
（2）知財活用への支援	4
（3）市場化への支援	6
2 産学官連携の強化	
（1）産学官プロジェクト研究の推進	13
（2）研究開発への支援	16
（3）広域的な連携	27
（4）技術交流の促進	41
3 経営革新の促進	
（1）取引先開拓への支援	45
（2）情報化への支援	48
（3）産業人材の育成	48
（4）異業種交流の促進	52
（5）地域活性化の推進	53
4 資金等の支援	
（1）設備導入への支援	55
（2）中小企業等育成資金への支援	56
5 国際ビジネスの支援	
（1）海外事務所等の運営	57
（2）ビジネスマッチングの促進	58
（3）コンサルティング・人材育成	59
（4）情報調査・収集提供	60
（5）外資系企業等の誘致	63
6 産業振興施設の運営	
（1）産業支援施設の運営	65

〔凡例〕	基金果実：科学技術振興基金の果実
国	：国の補助金等
県	：県の補助金等
負	：県、13市、13商工会議所等の負担金
特許等収入	：特許権等の使用料
広島大学	：広島大学からの負担金
会費	：賛助会員等会費収入
受	：受益者負担
自	：自主財源等

平成 23 年度 決 算 額 の 概 要 (事 業 体 系)

公益財団法人 ひろしま産業振興機構

1 創業・新事業創出等の促進 575百万円 (656百万円)	(1) 事業化の支援 496.3 百万円 (529.3 百万円)	① 中小企業・ベンチャー総合支援センターの運営 ② ワンストップサービスの推進 ③ 広島起業化センター運営事業 ④ 中小企業新事業創出支援事業
	(2) 知財活用支援 22.7 百万円 73.3 百万円	① 知財総合相談の実施 ② 外国出願支援
	(3) 市場化の支援 56.2 百万円 (53.3 百万円)	① 専門家派遣事業 ② 「イノベーションマッチングひろしま」の開催 ③ 新事業創出チャレンジ企業支援事業 ④ 販路拡大支援事業
2 産学官連携の強化 596百万円 (536百万円)	(1) 産学官プロジェクト研究の推進 155.9 百万円 (344.6 百万円)	① 基金プロジェクト研究の推進 ② 科学技術促進事業 ③ 応用研究支援事業 ④ 探索研究事業 ⑤ 広島県産業科学技術研究所運営事業
	(2) 研究開発の支援 433.2 百万円 (177.8 百万円)	① カーエレクトロニクス推進支援事業 ② 環境対応車社会適合性研究事業 ③ 戦略的基盤技術高度化支援事業 ④ 地域イノベーション創出研究開発事業 ⑤ 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業 ⑥ 医工連携推進事業
	(3) 広域的な連携 4.6 百万円 (11.1 百万円)	① 広域的産業集積活性化支援事業
	(4) 技術交流の促進 2.3 百万円 (2.1 百万円)	① 技術シーズ発掘事業 ② 次世代産業創出促進事業 ③ 共同研究支援事業
3 経営革新の促進 97百万円 (129百万円)	(1) 取引先開拓の支援 23.3 百万円 (20.8 百万円)	① 広域取引情報収集提供事業 ② 広域取引商談会推進事業 ③ 緊急下請取引発注開拓事業 ④ 下請かけこみ寺
	(2) 情報化の支援 20.8 百万円 (11.1 百万円)	① インターネットによる各種支援情報等提供事業 ② 情報誌等発行事業
	(3) 産業人材の育成 42.8 百万円 (83.0 百万円)	① 価値創成人材育成事業 ② 成長産業人材養成等支援事業 ③ 中小企業大学校広島校運営協力事業
	(4) 異業種交流の促進 2.0 百万円 (2.0 百万円)	① 広島県異業種交流連絡協議会の運営 ② 異業種交流グループの支援
	(5) 地域活性化の推進 8.2 百万円 (11.9 百万円)	① 中心市街地商業活性化推進事業
4 資金等の支援 380百万円 (420百万円)	(1) 設備導入の支援 379.5 百万円 (419.5 百万円)	① 設備貸与事業 ② 設備資金債権管理事業 ③ 債権管理
	(2) 中小企業等育成資金の支援 0.3 百万円 (0.6 百万円)	① 投資事業組合運営事業 ② 研究開発型ベンチャー企業誘致事業 ③ 企業育成型ひろしまファンド事業
5 国際ビジネスの支援 58百万円 (67百万円)	(1) 海外事務所等の運営 16.5 百万円 (16.5 百万円)	① 海外事務所の運営管理 ② 海外ビジネスサポーターの設置
	(2) ビジネスマッチングの促進 18.5 百万円 (23.5 百万円)	① 商談・視察派遣事業 ② 海外販路開拓・拡大支援事業 ③ 商談・視察受入事業 ④ 海外販路開拓プロジェクトコーディネーターの配置 ⑤ 海外取引フォーラム運営事業
	(3) コンサルティング・人材育成 6.0 百万円 (6.3 百万円)	① 国際化アドバイザー事業 ② 国際取引実務研修事業
	(4) 情報調査・収集提供 3.2 百万円 (3.3 百万円)	① セミナー開催等事業 ② 海外情勢報告等事業 ③ 情報誌等発行事業 ④ 国内ネットワーク事業
	(5) 外資系企業等の誘致 14.1 百万円 (17.7 百万円)	① 誘致・セールス活動 ② 環境関連ビジネス海外展開支援事業 ③ 外国企業誘致専門員の配置
6 産業振興施設の運営 376百万円 (376百万円)	(1) 産業支援施設の運営 376.2 百万円 (375.6 百万円)	① 産業会館管理運営事業 ② 産業技術交流センター等管理運営事業

合計 2,082百万円 (2,184百万円)

(注1) () 内数字は、平成22年度決算額。

(注2) 平成22年度決算額は平成22年度終了事業の決算額を控除している。

1 創業・新事業創出等の促進

(575, 131 千円)

創業、新事業展開、経営革新等を促進するため、中小企業・ベンチャー総合支援センターの運営により、ワンストップサービスの推進など総合的な支援体制を構築し、企業の成長段階に応じた一貫した支援を行った。

(1) 事業化の支援

(496, 262 千円)

① 中小企業・ベンチャー総合支援センターの運営

(県 31, 464 千円)

～プロジェクトマネージャーを中心とした一貫した支援体制の構築

個人、中小企業等の創業、経営革新等を支援するため、全体総括を行うプロジェクトマネージャーを中心にマネージャーによる支援体制を構築し、専門的見地からの効果的・効率的な支援活動を行った。

【プロジェクトマネージャー及びマネージャー】

区 分	氏 名	担 当	重点支援企業数	相談対応指導件数
プロジェクトマネージャー	山本 和男	全体総括・技術	15 社	490 件 (191 社)
マネージャー	石川 孝成 塔岡 尉令	販路開拓・情報	12 社	
マネージャー	西村 玉記	経 営	7 社	

② ワンストップサービスの推進

(県・自 5, 505 千円)

起業家、中小・ベンチャー企業等への支援を拡充することを目的に、各産業支援機関との連携・協力体制を強化した。また、様々な問題に対応する総合的な相談窓口を設置・運営するとともに、最新の経営資源情報をホームページ等により提供した。

ア 広島県産業支援機関等連携推進会議の運営

県内 37 の産業支援機関を構成員とする「広島県産業支援機関等連携推進会議」において、各種支援施策に関する調整・情報交換を行い、関係機関相互の連携・協力体制の強化を図った。

【会議開催状況】

名 称	開催日時	内 容	参加機関
広島県中小企業支援センター等 連絡調整会議	H23. 7. 5	・効果的、効率的な連携支援の在り方について（事例を含めた提案と協議） ・県内主要展示会等について	13 (32 人)
	H24. 2. 28	・平成 24 年度運営について	11 (27 人)

名 称	開催日時	内 容	参加機関
広島県産業支援機関等連携推進 会議	H24. 2. 28	・平成 24 年度中小企業支援施策の概要（経済産業局、広島県） ・ひろしま産業振興機構支援事例等	30 (52 人)

イ 総合相談コーナーの運営

常勤の相談員が起業家、中小・ベンチャー企業等の様々な相談に対して、他の産業支援機関とも連携しながら総合的な助言・指導を行った。

また、非常勤の専門アドバイザーにより、創業及び新事業展開の際に必須となるビジネスプランの作成に関する指導相談を毎月3回実施した。

【総合相談件数（H23.4～H24.3）】

区 分	技術、省エネ ISO、特許	会社設立	事業計画 ビジネスプラン	取引販路 マーケティング	資 金	その他	計	割合 (%)
新規創業	2	5	20	9	11	6	53	4.3
経営革新	119	3	161	243	49	94	669	54.4
そ の 他	106	2	76	102	34	188	508	41.3
計	227	10	257	354	94	288	1,230	100.0
割合 (%)	18.5	0.8	20.9	28.8	7.6	23.4	100.0	

【ビジネスプラン作成指導相談件数（H23.4～H24.3）】

区 分	実施回数	受講者数	成 果
個別指導	28回	46名（社）	指導により作成したビジネスプランに基づき、イノベーションマッチングひろしまで11が発表した。

ウ 情報基盤の整備・活用

各種経営資源情報（支援制度DB、支援人材DB、企業DB等）や各産業支援機関の支援情報を財団ホームページや支援事業カレンダーにより情報提供すると共に内容の充実を図った。

【主なデータベース（H24.3末現在）】

区 分	内 容	デ ー タ
支 援 機 関 D B	県内産業支援機関等の概要	31件
支 援 制 度 D B	県内産業支援機関等の支援制度	166件
支 援 事 業 D B (支援事業カレンダー)	県内産業支援機関等が実施するセミナー、講演会、展示会等の各種支援情報	随時更新
支 援 人 材 D B	当支援センターに登録済の専門家	176件
企 業 D B	県内企業の製品、技術等	1,252件

③ 広島起業化センター運営事業

（受、自 6,975千円）

広島中央サイエンスパーク内のインキュベーション施設「広島起業化センター(クリエイトコア)」を運営し、入居者の起業化や会社立ち上がり時の支援等を行った。また、必要に応じて、マネージャーや専門家の派遣による技術支援や経営相談、展示会への出展支援などを実施した。

【入居状況（H24.3末現在）】貸室数：8タイプ・20室（30㎡～77㎡）

区分（床面積）	入居者	事業内容、開発テーマ等
2号室(76.0㎡) 3号室(76.0㎡)	㈱フェニックスバイオ (バイオ関連)	毛髪再生医療技術開発並びに、新規薬品開発におけるキメラマウスを用いた受託研究
4号室(30.0㎡)	㈱ミハマ	省力化及び自立支援機能付介護福祉機器の研究開発

5 号室 (35.0 m ²)	エスアンドエー・ラボ(株)	多次元ガスクロマトグラフ分析装置の開発
11 号室 (44.4 m ²)	エス・エス・アロイ(株)	現在の技術では焼結しにくいといわれる粉末を焼結可能にする新たな焼結技術の研究開発
12 号室 (43.3 m ²) 13 号室 (43.3 m ²) 15 号室 (44.4 m ²)	(株)生体分子計測研究所 (バイオ関連)	ナノテクノロジーとバイオテクノロジーを組み合わせた独自技術による遺伝子自動検査装置開発
18 号室 (43.3 m ²)	A D A P T E X(株) (制御システム開発)	化学プラントの生産効率を向上させるための、制御パラメーターチューニング技術をソフトウェアとしてシステム化する研究
建物規模等： 鉄骨造 2 階建て (延床面積 1,454 m ²)，貸室 20 室 (30～77 m ²) 貸室料 (1 m ² あたり 2,100 円/月)，商談・交流室 2 室 (2 階) 管 理 運 営： (公財)ひろしま産業振興機構中小企業・ベンチャー総合支援センター (広島県産業科学技術研究所) 現在空き室： 11 室 (1, 6～10, 14, 16, 17, 19, 20 号室)		

④ 中小企業新事業創出支援事業

(県 452,318 千円)

中小企業等が県の承認を受けた経営革新計画に基づき、新技術・新製品の開発などの新事業を展開するに際し、人的資源が不足する場合に、即戦力人材の活用を資金面で支援した (平成 24 年 1 月末で事業終了)。

○ 平成 23 年度契約状況

契約件数 95 企業 雇用人数 144 名 契約金額 434,465 千円

(2) 知財活用の支援

(22,653 千円)

広島県中小企業知財支援センターの設置・運営事業

(自・県 22,653 千円)

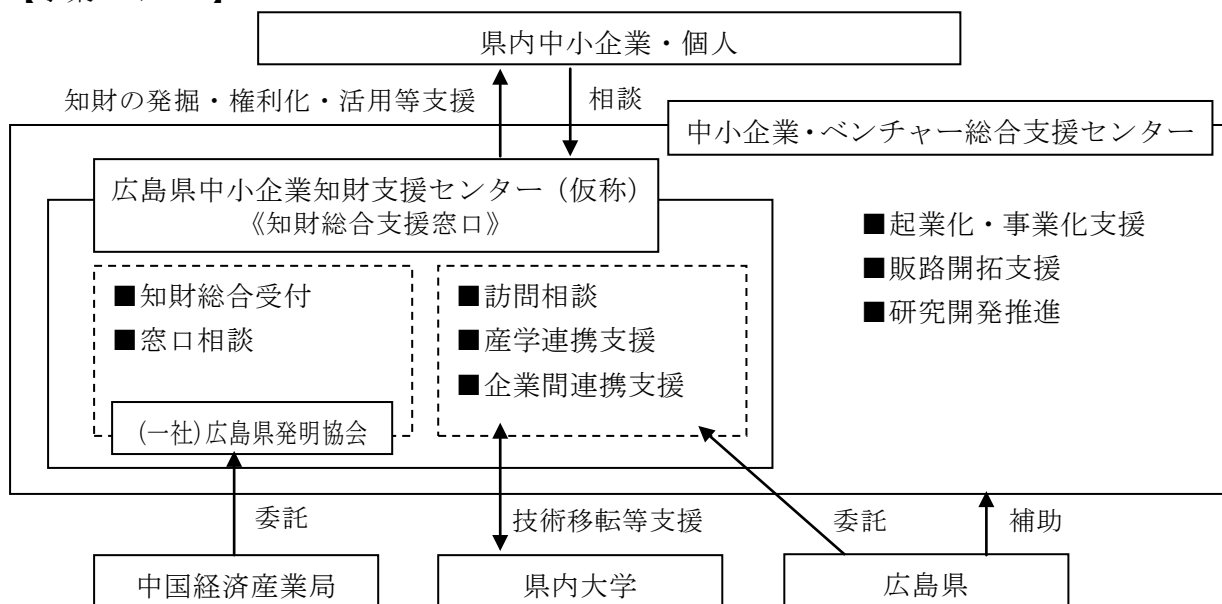
一般社団法人広島県発明協会とコンソーシアムを形成し、経済産業省及び県の事業の活用により、産振構に「広島県中小企業知財支援センター」を設置し、県内中小企業等に対する知財のワンストップサービスを実施した。

① 知財総合相談の実施

中小企業の知財の発掘・権利化・活用支援や中小企業の技術ニーズに対応した技術シーズの提供等により、中小企業等が企業経営の中で抱える知財に関する悩みを解決するとともに、中小企業・ベンチャー総合支援センターと連携することにより、知財を活用した事業化を促進した。

- 【主な支援内容】
- ・ 中小企業等の企業経営における知財活用意識の動機付け
 - ・ 知的財産に関する各種支援施策の紹介
 - ・ 窓口及び訪問相談による中小企業の知財の権利化・活用支援
 - ・ 大学等研究機関とのマッチング支援
 - ・ 模倣品、侵害訴訟対応支援 など

【事業スキーム】



【知財総合相談件数（H23.4～H24.3）】

■相談対応件数（延数） 1,354件 ※電話相談等を含む

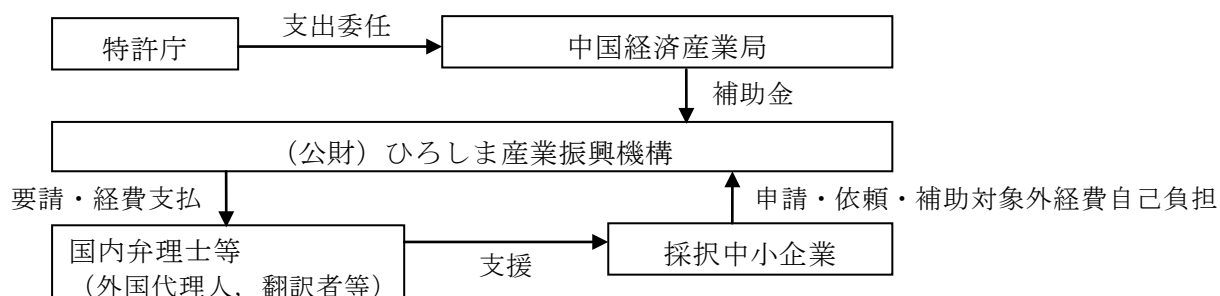
■うち産振構対応部分（県受託事業）の進捗

区 分	企業訪問数(延数)	相談案件数(実数)	活用提案数	事業化数
目 標	340件	200件	30件	6件
実 績	343件	224件	39件	4件

② 外国出願支援

中小企業の戦略的な外国への特許出願等を促進するため、外国出願に要する経費の一部を助成する。

【事業スキーム】



【外国出願件数】

助成申請企業	助成決定企業	助成実績額
6社	5社（特許4社、商標1社）	2,582千円

(3) 市場化の支援

(56,216 千円)

① 専門家派遣事業

ア 専門家による診断・助言事業

(県、受 11,457 千円)

中小・ベンチャー企業の経営・技術・人材・情報化など様々な課題に対応するため、中小企業診断士、技術士等の民間専門家を派遣し、診断・助言を行った。

【専門家派遣の状況（H23.4～H24.3）】

派遣 企業数	派遣 延件数							
		経営全般 事業計画	技術	労務人材	I T 関連	マーケティ ング関係	省エネ	その他
36社	157件	38件	17件	20件	22件	41件	5件	14件

イ チーム型支援事業

新たな事業の創出や経営革新等、地域経済の活性化に繋がる成長性の高い事業を審査・選定し、プロジェクトマネージャー、マネージャー及び専門家等から成る支援チームを編成して、経営課題の解決及び事業目標の達成に向けた支援を行っている。

【採択企業5社と支援内容】

企業名	所在地	製品・商品	支援の内容
(有)ファミーユ	広島市	食用油の劣化度評価装置、油煙除去装置、茹で麺排水処理装置	・販路拡大による黒字化への転換 ・厨房機器システムとしての需要の掘り起し ・製品開発、改良の技術的助言
(株)HANDWAY	府中市	ミキサー車用 生コンクリート品質保持カバー	・生産効率の改善、品質保証体制の整備 ・販路拡大及び代理店の発掘 ・新規開発商品の方向付け
広島蝶鮫	広島市	チョウザメ（稚魚、観賞魚、食用鮮魚、加工品としての販売）	・事業拡大のための市場及びルート調査 ・ホームページのアクセス解析による販路拡大 ・ネーミング、パッケージ等、商品企画の改良、開発
ADAPTEX(株)	東広島市	物流、配船等におけるロボスト多目的最適化システム	・システムの運用領域の検討及び選定 ・船社等の発掘及び企画提案書の作成指導 ・特許、モニター契約形態に関する助言、方向付け
ぱそこんわーく	広島市	PC用ワープロソフトWORDを用いた「わーど絵はがき、作成テキスト」	・開発商品の選定及び販路開拓 ・商品企画及びデザイン等の指導 ・知名度向上のための記者発表等、広報支援

【専門家派遣の状況（H23.4～H24.3）】

派遣 企業数	派遣 延件数							
		経営全般 事業計画	技術	労働人材	I T 関連	マーケティ ング関係	取引適正化	その他
5社	80件	24件	17件	0件	5件	25件	0件	9件

② 「イノベーションマッチングひろしま」の開催

(県 591 千円)

中小・ベンチャーと商社、金融機関、証券会社、機関投資家等とのマッチングの場を提供し、中小・ベンチャー企業の販路拡大、事業提携、資金調達等を支援した。

【開催概要】

開催時期	原則、毎月第4水曜日
開催場所	広島県情報プラザ
発表企業数	36社（4～3月）
内 容	・中小・ベンチャー企業等によるビジネスプランの発表 ・証券会社、商社等による指導・助言、コーディネート
成 果	・商談成立 4件（検討中12件） ・事業提携 7件（検討中2件） ・融資、投資実行 2件（検討中2件） ・助成実行 4社

【発表企業の状況（H23.4～H24.4）】

開催日	企 業 名	所在地	発 表 製 品
第1回 (4/27)	(株)呉英製作所	東広島市	フットケア用ダイヤモンドやすり
	中国計器工業(株)	府中町	電気自動車用普通充電器
	(株)ツシマエレクトリック	府中市	チョイ乗りEV（電気自動車）製作用キット
第2回 (5/25)	(株)建築舎ゆわんと村	呉市	牡蠣殻を活用したシックハウス対策・高強度建材
	第一コンテック(株)	広島市	鉄バクテリアを利用した除鉄・除マンガン水質浄化装置
	(株)土居技研	広島市	フリーアイス機（簡易型海水氷製氷機）
第3回 (6/22)	(株)テックコーポレーション	広島市	古紙再生装置「マジックペーパーくん」
	(株)ネクストビジョン	広島市	iPhoneを「多機能ハンディターミナル」としてビジネスシーンで活用するモバイルソリューション
	寿工業(株)	呉市	ロータリーエンジンを用いたバイオマス・コージェネレーションシステム
第4回 (7/27)	(株)善管	広島市	エスカレーター清掃機器、清掃工法
	冒険総合体験オリハルコン	大竹市	冒険家山下健一のヨット太平洋一周経験を活かした冒険総合体験事業
	(株)坪川毛筆刷毛製作所	呉市	新規の書写用小筆
第5回 (8/24)	オオアサ電子(株)	北広島町	360°無指向性タワースピーカー
	(株)お宙	広島市	淡水魚「ほんもろこ」の養殖とその加工品
	奥田商事(株)	広島市	共連れ防止の出入口保全装置
第6回 (9/28)	ばそこんわーく	広島市	PC用7-ソフトWORDを用いた「わーど絵はがき」
	(株)マルタカ	広島市	海苔粉末タブレット「海苔の輝」
	(株)ニューズアンドコミュニケーションズ	広島市	出品無料のモニター&ショッピングサイトの運用
第7回 (10/26)	(株)ワールドルームブリス	福山市	ベストバランス空調システム“WUCシステム”の販路拡大
	シンコー(株)	福山市	かんたんキレイに染まる「そめそめキット」の販路拡大
	(株)アイルネット	福山市	光拡散板を応用した一般照明と特殊照明の製造と販売事業
第8回 (11/22)	(株)東洋高圧	広島市	「まるごとエキス」装置を用いて製品開発された自社製品の販路拡大
	(株)ジブランド	広島市	ショッピングセンター駐車場内洗車サービス「ぷらせん」
	(株)セイルボート	広島市	賃貸業者間流通システム「キマRoom!」運営事業
第9回 (12/21)	(有)メディカルアシシトラボ	呉市	視覚障害者用環境認知支援装置「スマートソナー」の改良と販路開拓
	(株)西尾園芸	広島市	ひろしま式移動レイズドベッドレンタル事業
	(株)テックコーポレーション	広島市	水素水サーバー「い〜水H2」の販売展開
第10回 (1/25)	(株)コーポレーションパールスター	東広島市	“転倒予防くつ下”の新たな販売展開
	チューリップ(株)	広島市	使いやすさにこだわった切り替え式竹輪針セット【carryC】の販路開拓
	(株)テクノクラーツ	広島市	“縮径すっぽん”

第 1 1 回 (2/22)	(株)ENC OM	広島市	タブレット型情報端末用視線入力アプリケーションの販路拡大
	日の丸カーボテクノ(株)	三次市	炭を原料とした厨房汚水の水質浄化材（キレートカオス）の製造販売
	(株)吉岡システム	広島市	夢を叶えるツボで、日本中に夢と勇気を与える「楽木プロジェクト」
第 1 2 回 (3/28)	(株)シーオーテック	広島市	衛星ブロードバンドを利用した災害支援システムの販路拡大
	平岡工業(株)	広島市	その一瞬を永遠に：『フォトレリーフ』の販路拡大
	(株)MED I A S	広島市	パノラマ映像 百聞は一見にしかず！「バーチャルツアー」

③ 新事業創出チャレンジ企業支援事業

(自 30,851 千円)

国の「地域中小企業応援ファンド」を活用し、県から無利子貸付を受けて創設した「ひろしまチャレンジ基金」の運用益により元気な中小・ベンチャー企業等の事業化・市場化を支援した。

- 助 成 対 象：県内における創業者、県内に本店又は主たる事業所を有する中小企業・組合等
- 助成限度額：[事業化促進] 300 万円以内 [市場化促進] 100 万円以内
- 助 成 率：[事業化促進] 助成対象経費総額の 2 / 3 以内 [市場化促進] 同 1 / 2 以内
- 採択状況：応募 55 件 助成 21 件

事業区分	企業名	所在地	事業テーマ
事業化促進事業	1 (株)アイルネット	福山市	光拡散板を応用した特殊照明の製造と販売事業
	2 (有)大賀技研工業	呉市	自動化・高速化を可能にする搬送用板殻連製作装置の試作開発
	3 大蔵工業(株)	東広島市	子供二人乗りショッピングカートのモニター調査事業
	4 大宮工業(株)	福山市	小型非接触フルオートバランスの製品化
	5 奥田商事(株)	広島市	防犯防災カメラからの夜間映像の可視化
	6 (株)お宙	広島市	淡水魚並びに間伐材を利用した広島の農山村における 6 次産業化事業
	7 (株)呉英製作所	東広島市	高齢者介護用ダイヤモンド爪ケアヤスリの商品開発
	8 (株)西条庭園	東広島市	せせらぎ室内ビオトープの“せせらぎ音”の癒し効果測定並びに音の改良による商品力向上
	9 シグマ(株)	呉市	産業用ロボットを活用したマルチ検査装置の事業化
	10 シンコー(株)	福山市	宗派にこだわらないお坊さん向けが「ジュエルブランド」の開発・事業化
	11 東洋林産化成(株)	三次市	有機農法における土壌肥沃度台帳をもとにしたパーク堆肥販売システムの構築
	12 (株)ニチマンラバーテック	府中市	ゴムチップを利用した緩衝吸収効果の高い防草材
	13 広島化成(株)	福山市	太陽光利用型植物工場での光酸化障害を回避して生産性を向上させるシステムの商品化の取り組み
	14 (株)藤崎商会	広島市	コンクリート目地構造工事用国産削孔機の試作及び埋め込み棒鋼固定工法の確立
市場化促進事業	1 (株)トイロ	府中市	地元家具メーカーで製造するオリジナル家具の卸販売事業(通称：家具の里プロダクト研究所)
	2 (株)グリーンテクノロジー	広島市	モバイルスマートメータによるエネルギーモニタリングシステムの展示会出展による販路拡大
	3 (有)クリスターコーポレーション	福山市	「凍結含浸調味料」販売促進事業※販売促進事業：①セミナー開催、②研究会開催、③研究会支援、④HP 作成
	4 巴屋清信(有)	広島市	江波せんべいの広島新名物化
	5 (株)プロテック	福山市	オールインワン防犯カメラ『安視ん君』販売促進事業
	6 (株)ヤマサキ	広島市	ラサーナ エイジングヘアケア商品の販売促進事業
	7 (株)ユニカ	広島市	アイデアハンガーの企画・製造・販売による新市場開拓
助成総額		30,441 千円	

④ 販路拡大支援事業

(県 13,318 千円)

ア 県内ビジネスフェア開催事業

(県 2,334 千円)

中小・ベンチャー企業の新技術、新商品を展示する場を提供し、販路拡大や事業パートナー、投資家等との出会いを創出するため、次のとおり共同開催又は、協力を行った。

【当機構が共同開催のビジネス商談会】

名 称	第 8 回ひろしまビジネスマッチングフェア 2 0 1 1
開 催 時 期	平成 2 3 年 9 月 1 5 日 (木)
開 催 場 所	広島県立広島産業会館西展示館，広島市南区民文化センター
主 催 (構成団体)	《ひろしま》ビジネスマッチングフェア実行委員会 (ひろしま産業振興機構，広島銀行，広島商工会議所 等)
出展企業数等	1 3 9 社・団体 (社，大学，支援機関)
支 援 状 況	2 5 社について出展料を半額助成
参 加 企 業 等	I T 関連，医療・福祉，環境・バイオ，建設・機械，食品関連，サービス，生活関連企業等，商社，スーパー，百貨店，コンビニエンスストア，ホームセンター，通信販売等
来 場 者 数	2，7 0 0 人
内 容	・新商品，新技術等の展示，商談 ・出展企業 P R ・特別講演，セミナー開催・相談コーナー ・事前予約制商談会 (Win-Win2011 同時開催)
商 談 状 況	商談件数：248 件，商談成立件数：7 件，商談見込件数：16 件

名 称	エコ・イノベーションメッセ 2 0 1 1 in ひろしま
開 催 時 期	平成 2 3 年 1 1 月 2 5 日 (金) ～ 2 6 日 (土)
開 催 場 所	広島県立広島産業会館西展示館
主 催 (構成団体)	「エコ・イノベーションメッセ 2 0 1 1 in ひろしま」実行委員会 (広島県，広島市，ひろしま産業振興機構，広島商工会議所 等)
出展企業数等	1 2 0 社・団体
支 援 状 況	1 3 社について出展料を助成
参 加 企 業 等	モデルエコタウン提案企業，エコ・エネルギー，エコ・技術等
来 場 者 数	4，8 0 0 名
内 容	・展示会・ビジネスマッチング・講演・セミナー
商 談 状 況	商談件数：29 件，商談成立件数：1 件，商談見込件数：7 件

【当機構が協力するビジネス商談会】

名 称	第 6 回信用金庫合同ビジネスフェア 2 0 1 1 in グリーンアリーナ
開催時期	平成 2 3 年 1 1 月 1 5 日 (火)
開催場所	広島県立総合体育館 (大アリーナ)

主 催	信用金庫合同ビジネスフェア実行委員会 (広島県信用金庫協会, 広島信用金庫, 呉信用金庫, しまなみ信用金庫, 広島みどり信用金庫)
出展企業数	ブース出展企業: 307社・団体
内 容	新商品・新技術の展示・商談, 情報交換, ビジネス相談会
支援状況	・当財団は後援 ・5社について出展支援 ・ビジネス相談会を実施
商談状況 (支援企業)	商談件数: 21 件, 商談成立件数: 0 件, 商談見込件数: 3 件

イ 首都圏等ビジネスフェア出展事業

(県 8,440 千円)

全国展開の意欲を持つ県内の中小企業・ベンチャーの販路拡大, 資金調達, 事業提携等を支援するため, 首都圏等で開催される大規模展示会等に出展することにより, 中小・ベンチャー企業の新技術, 新商品を展示する場を提供した。

名 称	びわ湖環境ビジネスメッセ2011	中小企業総合展 JISMEE 2011
開催時期	H23 年 10 月 19 日～21 日	H23 年 11 月 9 日～11 日
開催場所	長浜ドーム	幕張メッセ
主 催	滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会	独立行政法人 中小企業基盤整備機構
出展企業数 (全体の出展数)	10 社 (308 社)	10 社 (748 社)
来場者数	37,280 名	31,228 名
内 容	環境製品・技術・サービスの展示・商談	新商品・新技術の展示・商談
商談状況 (支援企業)	商談件数: 114 件, 商談成立件数: 12 件, 商談見込件数: 45 件	商談件数: 56 件, 商談成立件数: 1 件, 商談見込件数: 33 件

名 称	東京ビジネスサミット2011 in 神戸	スーパーマーケット・トレードショー2012
開催時期	H23 年 12 月 1 日～2 日	H24 年 2 月 1 日～3 日
開催場所	神戸国際展示場	東京ビッグサイト
主 催	「第25回東京ビジネス・サミット2011」 実行委員会	(社)新日本スーパーマーケット協会
出展企業数 (全体の小間数)	6 社 (222 社)	2 社 (1, 295 社)
来場者数	4,549 名	84,360 名
内 容	新商品・新技術の展示・商談	食に関する新商品・新技術の展示・商談
商談状況 (支援企業)	商談件数: 34 件, 商談成立件数: 3 件, 商談見込件数: 18 件	商談件数: 129 件, 商談成立件数: 14 件, 商談見込件数: 18 件

名 称	東京インターナショナル・ギフトショー	グルメ&ダイニングスタイルショー
開催時期	H24 年 2 月 8 日～10 日	H24 年 2 月 8 日～10 日
開催場所	東京ビッグサイト	東京ビッグサイト

主 催	インターナショナル・ギフト・ショー事務局，(株)ビジネスガイド社	株式会社ビジネスガイド社
出展企業数 (全体の小間数)	4 社 (2,501社)	2 社 (90社)
来場者数	196,673 名	32,998 名
内 容	雑貨に関する新商品・新技術の展示・商談	食に関する新商品・新技術の展示・商談
商談状況 (支援企業)	商談件数：67 件，商談成立件数：13 件， 商談見込件数：21 件	商談件数：22 件，商談成立件数：1 件， 商談見込件数：7 件

名 称	厨房設備機器展	ジャパンペットフェア
開催時期	H24 年 2 月 21 日～24 日	H24 年 3 月 29 日～31 日
開催場所	東京ビッグサイト	幕張メッセ
主 催	(社) 日本厨房工業会 (社) 日本能率協会	(一社) 日本ペット用品工業会
出展企業数 (全体の小間数)	1 社 (680社)	1 社 (175社)
来場者数	87,000 名	80,996 名
内 容	業務用機器の新商品・新技術の展示・商談	ペット用品と関連製品並びに新製品，新技術の展示・商談
商談状況 (支援企業)	商談件数：20 件，商談成立件数：1 件， 商談見込件数：5 件	商談件数：20 件，商談成立件数：0 件， 商談見込件数：20 件

ウ 販売力強化支援事業

(県 2,544 千円)

県内企業の持つ新商品等の販売を促進するため，「販売戦略塾」を開催し，マーケティング戦略に関するセミナーを実施するとともに，商品やサービスのブラッシュアップを行うことにより，販路拡大を支援した。

○マーケティング力強化セミナー（講師：(株)ゴールドボンド 代表取締役 大平 孝 氏）

マーケティングの基礎知識や，全国流通のための「商品開発戦略」，「価格戦略」，「流通戦略」，「プロモーション戦略」等を学ぶためのセミナーを開催し，販売の基本戦略の構築を支援した。

開催日	テ ー マ	参加者
H23. 5.21	『なぜ，販路拡大をしなくてはいけないのか？』	55社，74名
H23. 6. 3	『どこの販売チャンネルに売するのか？そのためには・・・』	53社，69名
H23. 6.18	『販売こそが生き残る道！』	47社，60名

○個別企業支援（製品・サービスのブラッシュアップ支援）

上記セミナーを受講した者の中から全国展開を狙える商品レベルに高めるため、12社について専門家による個別商品のブラッシュアップ（既存商品の改良、新商品の開発）を実施した。

	企 業 名	所在地	ブラッシュアップ商品
1	(株)HANDWAY	府中市	ミキサー車用 生コンクリート品質保持カバー
2	(有)ファミーユ	広島市	食用油の劣化度評価装置
3	(株)呉英製作所	東広島市	フットケア用ダイヤモンドやすり
4	和産業(有)	福山市	木製サッカーボール
5	(合)福彦商店	広島市	葉わさび浅漬け
6	多加津堂酒店(有)	廿日市市	元祖もみぢ饅頭
7	清流厨房 せせらぎぶんこう	廿日市市	ワッフル, ジャム
8	(株)ひまわりフーズ	廿日市市	焼きそば用高級熟成麺
9	豊田産業(株)	府中市	桐製小箱
10	(株)G L A B	東広島市	ハイヒール用インソール
11	(株)ユニカ	広島市	便利ハンガー
12	(株)イシカワ	廿日市市	栄養機能食品「カルシウム黒豆」

○専門展示会への出展支援（企業ごとの販路開拓）

	企 業 名	出展展示会	商談状況
1	(株)HANDWAY	中小企業総合展JISMEE 2011	商談件数：10 件，商談成立件数：0 件， 商談見込件数：2 件
2	(有)ファミーユ	厨房設備機器展	商談件数：20 件，商談成立件数：1 件， 商談見込件数：5 件
3	(株)呉英製作所	東京国際ショナル・ギフトショー	商談件数：3 件，商談成立件数：1 件， 商談見込件数：5 件
4	和産業(有)	東京国際ショナル・ギフトショー	商談件数：11 件，商談成立件数：6 件， 商談見込件数：6 件
5	(合)福彦商店	スーパーマーケット・トレードショー2012	商談件数：35 件，商談成立件数：1 件， 商談見込件数：9 件
6	多加津堂酒店(有)	東京国際ショナル・ギフトショー	商談件数：20 件，商談成立件数：1 件， 商談見込件数：7 件
7	清流厨房 せせらぎぶんこう	東京国際ショナル・ギフトショー	商談件数：2 件，商談成立件数：0 件， 商談見込件数：0 件
8	(株)ひまわりフーズ	スーパーマーケット・トレードショー2012	商談件数：94 件，商談成立件数：13 件， 商談見込件数：9 件
9	豊田産業(株)	東京国際ショナル・ギフトショー	商談件数：20 件，商談成立件数：6 件， 商談見込件数：3 件
10	(株)ユニカ	東京国際ショナル・ギフトショー	商談件数：33 件，商談成立件数：0 件， 商談見込件数：7 件

2 産学官連携の強化

(596,016 千円)

産学官連携による協同体制を構築して、今後進展する事業分野での基礎的・先導的研究開発を推進するとともに、地元企業のもつ独自技術の高度化につながる共同開発への支援や特許流通などの経営資源の双方向での活用促進など、新産業の創出及び既存産業の高度化を図るための幅広い支援活動を推進した。

(1) 産学官プロジェクト研究の推進

(155,877 千円)

県内産業の創造的発展を支援するため、広島県産業科学技術研究所において、地域への波及効果が極めて高い研究課題について、産学官の英知を結集した共同プロジェクト研究を実施した。

当研究所において取り組むべき研究開発分野は、「バイオ・健康・ライフ」、「材料・エコシステム」と「情報・知能」の3分野としている。

① 基金プロジェクト研究の推進

(基金果実 19,321 千円)

平成21年度開始の次世代半導体LSIの基盤技術となる研究開発「半導体低誘電率絶縁膜プロジェクト」と、平成23年度開始のものづくり産業高度化の基盤技術となる研究開発「難加工材レーザ援用先端加工プロジェクト」の2つのプロジェクト研究を基金事業として実施した。

ア 半導体低誘電率絶縁膜プロジェクト

(基金果実 18,195 千円)

※ 固定資産取得分 8,412 千円含む

プロジェクトリーダー	広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 教授 吉川公磨
研 究 テ ー マ	ナノ空孔を有する絶縁膜の表面安定化・高強度化技術の開発
研 究 成 果	・比誘電率：1.95～2.1 の範囲で弾性率：最大 6.9 GPa を達成した。 ・比誘電率 2.1 でリーク電流密度 10^{-9} A/cm² を達成した。 ・環状シロキサン TMCTS 疎水化処理装置及びプロセスを開発した。 ・ゼオライト合成温度の最適値 (85℃) を得た。 ・均一膜の弾性率を測定できることを確認した。
今 後 の 展 開	・300 mm シリコンウェハへの適応を試みる。 ・疎水化処理装置およびUV照射装置のノウハウを生かし、塗布型膜形成技術製造装置のビジネスを展開する。 ・不均一薄膜に対する表面弾性波モデルを開発し、薄膜弾性率測定装置の応用展開を図る。
研 究 期 間	平成21年4月～平成24年3月 (3年間)
推 進 体 制	5機関 (産3, 学1, 官1)

イ 難加工材レーザ援用先端加工プロジェクト

(基金果実 42,813 千円)

※ 固定資産取得分 33,396 千円含む

プロジェクトリーダー	広島大学大学院 工学研究院 材料・生産加工部門 教授 篠崎賢二
研 究 テ ー マ	レーザ熱源を利用した高機能難加工材の先端加工システムの研究開発

研 究 成 果	・レーザ溶接の現象の解明と最適条件の導出を試みた。 ・張出成形システムにおけるレーザ加熱方法及び加熱条件を明らかにした。 ・レーザ加熱による切削加工において、切削抵抗の低下（27%）が見られ、非常に有効であることが示唆された。
今 後 の 展 開	・狭開先溶接技術では高精度な高温ひずみ及び組織形成予測具術の検討，ホットワイヤ揺動挿入技術を用いた微細組織形成制御を行う。 ・レーザ加熱条件及び各種成形条件と成形性の関係の把握，モデル成形品の加工を目指した最適成形条件の検討を行う。 ・加熱－冷却サイクルに及ぼす加工条件の影響，被削性改善効果に及ぼす加工条件の影響について検討する。
研 究 期 間	平成21年4月～平成24年3月（3年間）
推 進 体 制	7機関（産5，学1，官1）

② 科学技術促進事業

（基金果実，特許等収入 2,464 千円）

プロジェクト研究等において実用化の可能性のある研究成果の権利化を図るとともに，地域の科学技術振興に資する事業を実施している。

③ 応用研究支援事業

（基金果実 1,705 千円）

平成22年9月に終了した「ニワトリ抗体生産プロジェクト」の研究成果を地域に移転・展開するため，平成22年10月から平成24年9月まで実施することとしている。第1世代キメラニワトリからの第2世代ニワトリの作出効率の算定ならびに改善（遺伝子改変ES細胞の染色体の調査を含む）に取り組んだ。今後，サンプル抗体を作成するとともに，抗体生産に必要な生産系を確立し事業化を目指す。

④ 探索研究事業

（基金果実 6,980 千円）

産学官プロジェクト研究や大型外部資金プロジェクトのテーマを探索するため，軽量化，高効率生産技術等，ものづくり産業の低炭素化・環境負荷の低減に資する3つのテーマを，平成23年4月から平成24年3月末まで実施した。

ア 柔軟発電デバイスの開発と新しい海洋エネルギー発電方式等の提案

研 究 代 表 者	広島大学大学院 工学研究院 准教授 陸田 秀実
研 究 成 果	・柔軟発電デバイスを用いた垂下式浮体発電装置を設計・試作し，その発電性能，運動性能試験を行った。 ・振動力発電用デバイスを設計・試作し，その発電特性を明らかにした
今 後 の 展 開	・高出力デバイス（素材）の開発に取り組む。 ・発電コストの低減に取り組む。 ・発電性能評価シミュレーションツールを開発する。

イ レーザ積層造形による高硬度・高精度金型製作技術の開発

研究代表者	近畿大学 工学部 学部長／機械工学科 教授 京極 秀樹
研究成果	・レーザにより、工具鋼および析出型ステンレス鋼とも、滑らかに連続したトラックを作製できる条件を見出すことができた。 ・工具鋼および析出硬化型ステンレス鋼とも、積層造形可能となった。
今後の展開	・射出成形金型、精密プレス金型、工具への展開を図る。

ウ 難加工材成形用工具への放電焼結ユビキタス硬質材料の適用

研究代表者	広島大学大学院 工学研究院 教授 松木 一弘
研究の要約	・放電焼結法において、二段階の昇温プロセスを用いて、均一で緻密な WC-(Fe-Ni) 合金を作成することができた。 ・FeB 及び Fe₂B 組成比の異なった焼結体を作成できた。
今後の展開	・工具メーカーとの共同研究を実施する。 ・日本粉末冶金工業会「PM 研究促進展」等に出展し、企業とのマッチングを図る。

⑤ 広島県産業科学技術研究所運営事業

(県 125,407 千円)

産学官協同体制により、基礎的・先導的分野の研究開発を推進するため、県から指定管理者の指定を受けて広島県産業科学技術研究所を管理・運営している。

ア 企画評価委員会

回 次	内 容
第 1 回 (H23. 10. 11)	・半導体低誘電率絶縁膜プロジェクトの進捗状況と今後の計画について審議した。 ・難加工材レーザ援用先端加工プロジェクトの進捗状況と今後の計画について審議した。 ・応用研究支援事業の進捗状況と今後の計画について審議した。 ・探索研究事業の進捗状況と今後の計画について審議した。
第 2 回 (H24. 2. 23)	・半導体低誘電率絶縁膜プロジェクトの研究成果について審議した。 ・難加工材レーザ援用先端加工プロジェクトの今年度成果と次年度計画について審議した。 ・応用研究支援事業の今年度成果と次年度計画について審議した。 ・探索研究事業の成果報告について審議した。

イ 広島中央サイエンスパーク研究交流推進事業

広島中央サイエンスパーク内に立地する研究機関（13 機関）と研究支援機関等により設置した「広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会」において、研究交流や施設公開等を実施し、県内産業への技術波及などの推進を図っている。

(ア) 施設公開

開催日	平成 23 年 10 月 28 日 (金) 10:00～16:00
施設公開機関	11 機関
記念講演会	演題：産学官連携が拓く光の未来！ 講師：エクセル株式会社 専務取締役 開発本部長 藤原勝則 場所：中国電力(株)エネルギー総合研究所「会議棟」
参加者数	1, 237 名 (内講演会 72 名含む)

(イ) 研究公開フォーラムの開催

開催日	平成 23 年 12 月 15 日 (木) 13:00～17:00 13:00～14:00 施設見学 14:00～16:00 発表 16:00～17:00 ポスターセッション
場所	(独)酒類総合研究所 発表 : 3F 大会議室 ポスターセッション : 2F 特別セミナー室
テーマ数	発表 : 11 テーマ (7 立地機関) ポスターセッション : 24 テーマ (7 立地機関)
参加者数	施設見学 : 30 名 発表・ポスターセッション : 85 名

ウ 共用研究機器の一般貸出

共用研究機器を大学、企業等の研究にも活用して頂けるよう一般に開放（有料）した。

(2) 研究開発の支援

(433, 224 千円)

既存企業が保有するコア・コンピタンスの高度化と、それを核とする新分野進出、ベンチャー企業の育成など新事業創出の加速化を図るため、商品化及び事業化のための産学官共同研究を積極的に支援した。

特に、国庫補助事業においては、産学官連携による共同研究体を委託（助成）対象とした産学官連携研究開発制度に応募し、採択となった事業について管理法人等として実用化・事業化に向けて積極的に事業推進を図った。

① カーエレクトロニクス推進支援事業

(県 21, 473 千円)

本県の基幹産業である自動車産業において、急速に進展している自動車部品のエレクトロニクス化に対応するため、県と連携した戦略的な支援体制を整備し、県内におけるカーエレクトロニクス分野の育成・強化を図った。

ア カーエレクトロニクス推進センターの運営

財団内に設置しているカーエレクトロニクス推進センターの運営により、産学官連携、企業間連携による開発の推進を支援した。

イ コーディネータの配置

センターにコーディネータ3名を配置し、企業ニーズの把握や研究課題の抽出、企業連携の推進、競争資金獲得の支援等の活動を展開している。

平成23年度は、広島県カーエレクトロニクス開発促進補助金3件を認定し、補助事業への助言を行うとともに、国等の競争的資金獲得に向けた支援を行うなど、共同研究開発を推進した。

〔平成23年度広島県カーエレクトロニクス開発促進補助事業〕

共同研究開発テーマ	申請者	共同研究グループ構成者
レアアースレス小型DCモータの開発	(株)久保田鐵工所	・(株)マツダ ・NSウエスト(株) ・国立大学法人岡山大学
生体情報センシングによる省電力冷暖房システムの開発	(株)ユーシン	・(株)日本クライメイトシステムズ ・(株)東洋シート ・近畿大学工学部 ・県立広島大学
ハイパーソニック用超高周波スピーカの開発	(株)ディジフュージョン・ジャパン	・オオアサ電子(株) ・近畿大学工学部

〔国等の競争的資金採択状況〕

資金名	採択課題名	研究責任者
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） 〔独立行政法人科学技術振興機構〕	ヒトの温冷感覚特性を考慮した自動車空調システムの開発	中村 一美 (近畿大学)
	知覚情報処理特性に基づいたヒューマン・ビークルインタフェースの開発	樋脇 治 (広島市立大学)

ウ カーエレクトロニクス研究会の運営

「環境技術」「安全・情報技術」「エレクトロニクス技術」の3分野における共同研究開発等を推進するための研究会（ワークショップ）を設置・開催した。

〔平成23年度ワークショップ開催状況〕

研究開発テーマ	開催回数
ベンチマーキング拠点施設WS	3回
電磁シールド技術WS	3回
温冷感検出エアコン研究WS	6回
ハイパーソニックWS	6回
非接触充電WS	2回
合 計	20回

エ ベンチマークキングセンターの運営

自動車部品サプライヤー等における部品開発の基礎となる他社技術の動向把握や応用活用等を支援するため、県が整備した共同利用型ベンチマークキングセンターを運営している。

〔平成 23 年度ベンチマークキング活動状況〕

ベンチマーク車両	ベンチマーク期間
日産リーフ（E V）	H23. 12. 12～H24. 3. 16

オ V E（価値創成活動）センターの運営

（別掲：3－(3)－① 価値創成人材育成事業）

カ 産学官連携による人材育成

（別掲：3－(3)－②－ア中国地域次世代自動車等開発人材養成事業）

② 環境対応車社会適合性研究事業

（県 7,026 千円）

本県の基幹産業である自動車産業において、持続的な競争力を確保し、新たな付加価値の創造による事業領域の拡大を図るため、国内外の自動車に関連する社会環境の変化を包括的に調査・分析を行い、新たな自動車産業振興の方向性を明確化する。

○ プロジェクトリーダーの配置

カーエレクトロニクス推進センター内に、パワーエレクトロニクス分野で深い知識を有し国内外の自動車産業に精通した調査研究プロジェクトリーダーを 1 名配置し、環境対応車の基本性能や海外環境規制等の情報収集及び調査・分析を行った。

〔環境対応車に関する調査・分析活動状況〕

区 分	内 容
情報収集・調査	○ 次世代自動車技術講演会開催：2回（8/29, 3/21） ○ 国内実証実験成果の調査：2件（浜松市、福岡県） ○ 県内企業へのヒアリング：3社 ○ アンケート調査：3回
分析・研究	○ 環境対応車の比較実証研究 （実用性の比較実証、走行データの収集等の実施） ・実証参加者 延べ 70 名（企業、大学、行政の関係者） ・実施日・実施コース 8/30…広島市内、8/31…広島市～呉市間、9/1…広島市～三次市、 9/2…マツダ㈱三次自動車試験場、三次市～広島市 ・実証車両 7 台 デミオE V、デミオ13-SKYACTIV、プリウス プラグインハイブリッド、 プリウス ハイブリッド、リーフ、i-M i E V、e-Z O N E ○ 新たな自動車産業振興施策の企画・提案 ・「環境対応車社会適合性研究事業推進会議」の設置及び開催（1回） ・調査報告書の作成

	スト化を図りつつ、製品を高強度化することで、車体の軽量化を目指す。
主な研究開発の成果	①通電加熱装置のキュリー温度以降の昇温時間が短縮できた。また通電加熱の加熱ムラがなくなり、均等加熱が可能となった。 ②シール方法を見直し、シール装置での圧力保持を可能とした。 ③冷却条件確立のための実験装置を製作した。 ④想定量産部品の設計を完了し、試作品による性能結果で板厚 2.9t から 2.3t となり、結果、従来比 24%の軽量化を実現した。
研究実施者	(株)ワイテック, (株)富士技研, (株)山本水圧工業所
研究開発期間	平成 21 年 9 月～平成 24 年 3 月

〔平成 22 年度からの継続研究開発テーマ〕

次のテーマは、研究開発の 2 年度目で、事業化に向けた研究開発を実施している。概ね計画どおり研究は進んでおり、下半期は、各サブテーマの研究開発の推進、3 年度目の研究開発内容の検討、中国経済産業局による中間評価への対応等を行った。

テーマ名	プレス金型用次世代アンダーカット成形技術の開発
総括研究代表者	(株)テクノクラーツ 代表取締役 反本 正典
研究開発の概要	工業製品の構成部品の多くを占めるプレス成形品に対し、機能の高度化及び形状デザインの自由度の拡大が求められている。本研究開発では、独自のプラスチック射出成形金型技術をベースに、プレス成形不可能なアンダーカット形状を有する製品を、別部品の溶接という手法を用いずに、機能・デザインを損なうことなく一体成形を可能にする革新的な技術を開発する。これにより、自動車及び情報家電における従来不可能であったプレス成形品の量産成形を可能にし、金型コスト削減、加工エネルギー削減、成形のハイサイクル化を実現する
主な研究開発の成果	①一体成型を可能とする新機構について、蟻溝タイプと丸ピンタイプの二種類で摺動性を比較検討し、蟻溝タイプの方が優れていることを確認した。 ②蟻溝タイプの機構で成形したプレス成形品（：バーリング形状）の穴径寸法公差は、市場要求精度の±0.5mm 以内となることを確認した。また、この寸法公差はシミュレーション結果と同等であったことから、本件で育成したシミュレーション手法が、次世代アンダーカット成形装置の形状を特定する指標に成り得ることが理解された。 ③蟻溝タイプの機構によるプレス成形過程で、その機構に加わる歪を捉え、応力解析シミュレーション結果と比較したところ、同様の傾向を示すことが確認された。この結果、新機構の耐久性を判別する上で応力解析シミュレーションが有効であることが示された。
研究実施者	(株)テクノクラーツ, (株)ワイテック
研究開発期間	平成 22 年 9 月～平成 25 年 3 月（予定）

テーマ名	CFRP 軽量部材の革新的プレス成形技術の開発
総括研究代表者	(株)デルタツーリング 常務取締役 藤田 悦則
研究開発の概要	自動車産業や航空機産業では、シート等部品の軽量・高強度化、低コスト化が求められている。本研究開発では、シート等部品の軽量、高強度化に向け、難加工材である CFRP のハイサイクルプレス成形技術確立する。具体的には、炭素繊維強化による異方性の特長を活かした部材を設計し、炭素繊維が伸びないため、熱可塑性 CFRP 素材の板からプレス成形が可能な金型方案を開発するとともに、製品化に向け、部材同士の接合構造の高強度化を図り、成形品の後工程を削減し、生産性を飛躍的に向上させる技術によりコストの低減を図る。
主な研究開発の成果	①鉄系薄板で CFRP を挟持した 3 層構造を基本とする CFRP 製補強部材を用いた自動車用座席背部フレームを設計・試作し、具体的な座席フレームとしての強度を評価した。強度評価では従来の鋼製座席背部フレームとほぼ同等の特性であったが、軽量化では 30% 目標に対して約 20% 達成と課題が残った。

	②成形シミュレーション・強度解析技術を基本に、補強部材の解析を行い、材料歩留まりの高い最適なブランク形状を導く技術を確認した。 ③CFRPの成形品の品質を管理する手法を確認するため、非破壊検査で認識できる欠陥（ボイド）の大きさを把握した。 ④繊維強化材料の特徴である異方性を考慮した設計技術を確認した。
研究実施者	(株)デルタツーリング、(株)YDテクノ、広島県立総合技術研究所〔西部工業技術センター〕
研究開発期間	平成22年8月～平成25年3月（予定）

テーマ名	プレス成形及び鍛造成形の複合による超軽量デフケースの開発
総括研究代表者	(株)音戸工作所 執行役員開発技術部長 伊藤 一也
研究開発の概要	自動車の変速機は、燃費・環境規制に対応するため、小型軽量化が求められている。変速機内に搭載されているディファレンシャルユニットは、変速機重量の約10%を占めているため、軽量化において重要なユニットである。本研究開発では、ディファレンシャルユニットの主要構成部品であるデフケースを、従来の鋳造成形から、プレス成形と鍛造成形の複合成形へ変更することにより、軽量化・小型化・低コスト化を実現する。
主な研究開発の成果	①ファイナルギヤ一体化デフケースレフトの材料歩留目標を達成できる鍛造加工法を確認した。 ②歯面研磨工程見直しにより、ギヤの歯振れ精度を確保することのできる機械加工法の確立に目途がついた。 ③デフケースライトはプレストライ結果での不具合発生に対し、シミュレーションによる対策効果を確認した。 ④軽量化目標については、形状見直しにより、目標を達成できる見込みである。
研究実施者	(株)音戸工作所、中央工業(株)、広島県立総合技術研究所〔西部工業技術センター/生産技術アカデミー〕
研究開発期間	平成22年9月～平成25年3月（予定）

〔平成23年度に採択された新規研究開発テーマ〕

ア 当初予算分

当財団から、11件を提案していたが、次の3件が新たに採択され、中国経済産業局との委託契約締結後、研究開発に着手した。研究期間が3年度であるこれらの研究開発テーマについては、下半期は、各サブテーマの研究開発の推進、2年度目の研究開発内容の検討・中国経済産業局による中間評価への対応等を行った。

テーマ名	低燃費化を可能にする超耐熱、高強度中空化樹脂製冷却部品の開発
総括研究代表者	(株)久保田鐵工所 研究開発本部 開発課 主任 小西 宏征
研究開発の概要	環境問題から自動車の低燃費化のニーズは一段と高まってきている。本研究では、広島大学との共同研究と先行技術開発で得られた知見により、プラスチック成形技術の高度化を図り、中空化一体成形を可能とし、これまで実現できなかった超耐熱、高強度なエンジン部品の樹脂化を図る。現在のアルミ製から可変流量を織り込んだ業界初の樹脂一体成形による冷却系部品（ウォーターポンプ他）を開発し低燃費化、軽量化を低価格で実現する。
主な研究開発の成果	①「二次射出による融着強度の向上」については、ウエルドラインのGF配向と流路幅による接着強度への影響を把握するとともに、ウエルドラインの強度低下の原因を特定した。 ②「金属インサート成形時の保持力の向上」については、樹脂中空化一体成形が可能で構成部品一式を金属製筐体にアセンブリしたインサート成形構造の開発を行い、その金属製筐体の最適化設計までに至った。 ③「流量制御による冷却系システム信頼性の向上」については、川下企業のニーズを受け、当初予定していた一箇所流量制御をおこなうバルブ構造から複数経路を一

	括で流量調節するバルブ構造へ変更した。このこともあり、“流量制御に最適なバルブ構造を把握し設計する”という当初目標に対し一部未達ではあるが、その基本構造を構想した。
研究実施者	㈱久保田鐵工所、㈱広島金型、広島大学〔大学院工学研究院〕
研究開発期間	平成23年9月～平成26年3月（予定）

テーマ名	産業用移動機械向けに低価格で実現する高精度マシン制御システムの開発
総括研究代表者	㈱三英技研 代表取締役 山本 忠
研究開発の概要	国土交通省では、直轄の道路土工等の工事について、平成24年度までにICTを活用した「情報化施工」が標準的な施工管理方法となるため、ブルドーザ等の産業用移動機械では、高精度測位システムの低価格化が、川下企業から強く求められている。本研究では、1周波RTK-GPSシステムと後付け型1周波GPSとジャイロのみによる低価格モーションセンサの開発により、高精度測位システムが従来機の5分の1以下の価格で販売可能となる。また、道路等3次元CAD/CAMと同システムの導入により、川下企業の短納期・高品質化技術が可能となる。
主な研究開発の成果	①1周波RTK-GPSアルゴリズムの研究開発では、GPS搬送波位相観測方程式の作成及び二つの局が同時に同じ衛星を捉えて観測を行う場合の受信機間一重差の方程式を確立した。 ②1周波QS-RTKネットワークサーバシステム無線通信(WiFi)の通信制御とGPS基地局・移動局の衛星情報の収集と解析(測位演算)及びその結果の各重機への配信を行うGPS計算サーバを開発した。 ③モーションセンサによる1周波RTK-GPS情報の補間アルゴリズム開発では、IMUの加速度及び角速度の積分による補間は非現実的であることが判明した。 ④3次元描画できるオペレータガイダンスモニタの試作機を作成するとともに、レーザースキャナーを使用して、地形のレーザデータ取得が可能であることを確認した。 ⑤機能評価のための部分統合実験を行い、GPS精度：平面10cm、高さ10cm、初期化時間：30秒、応答周波数：1Hzを達成した。
研究実施者	㈱三英技研、日本システムデザイン㈱、神戸大学〔海事科学研究科〕、(独)産業技術総合研究所〔つくば研究センター〕
研究開発期間	平成23年8月～平成26年3月（予定）

テーマ名	S i C基板向け大気圧プラズマ熱処理装置の開発と非接触基板温度測定装置の開発
総括研究代表者	ローツェ㈱ 代表取締役 崎谷 文雄
研究開発の概要	自動車・家電・産業用モータ等に、現在シリコンパワー半導体がインバータとして使われているが発熱損失が大きい。次世代S i C（炭化珪素）基板は、低損失性、耐電圧が共にシリコン基板より10倍優れているが、素子製造工程における熱処理が従来より千℃も高い2千℃近くを必要とする。本研究では、炉に代えて熱源温度1万℃の大気圧熱プラズマをS i C基板に直接噴射して急速加熱する省電力熱処理装置を開発し、電力ロスが極めて少ないS i Cパワー半導体を普及させることで、社会の省エネルギー化に貢献する。
主な研究開発の成果	①ウエハ回転ステージを試作し、回転させながらプラズマを照射すると、中心部で最高1,270℃まで割れることなく昇温できることを確認した。 ②プラズマ軌跡速度が一定の渦巻き状駆動できるように、ソフトウェアを組み込んだ電子装置を開発した。 ③プラズマ照射ができるように、小型のトーチを開発した。 ④熱処理工程の前工程を行う高温イオン抽入装置の開発し、目標以上の温度、目標の真空度を達成した。
研究実施者	ローツェ㈱、㈱アドテックプラズマテクノロジー、広島大学〔ナノデバイス・バイオ融合研究所〕
研究開発期間	平成23年8月～平成26年3月（予定）

イ 平成23年度第3次補正予算事業分

当財団から、2件を提案していたが、次の1件が新たに採択され、中国経済産業局との委託契約締結後、研究開発に着手した。研究開発期間が単年度であるこの研究開発テーマについては、次年度各サブテーマの研究開発の推進し研究開発成果をとりまとめるとともに、事業化計画の検討を行う。

テーマ名	歯面無切削ヘリカルギヤの冷間鍛造工法の開発
総括研究代表者	㈱音戸工作所 技術部長 前西 博昭
研究開発の概要	自動車の燃費・環境規制に対応するため、小型軽量化が強く求められている。変速機の主要ユニットである遊星歯車機構に使用されているヘリカルギヤの製造方法として、従来より用いられている切削加工のホブ加工とシェービング加工を不要とし、高強度かつ1工程で成形可能な新しい冷間鍛造工法を開発し、小型軽量化と併せて低コスト化を実現して、変速ギヤの多段化の可能性を拡大する。
研究実施者	㈱音戸工作所、広島県立総合技術研究所〔西部工業技術センター/生産技術アカデミー〕
研究開発期間	平成24年3月～平成25年2月（予定）

④ 地域イノベーション創出研究開発事業

（国 79,870 千円）

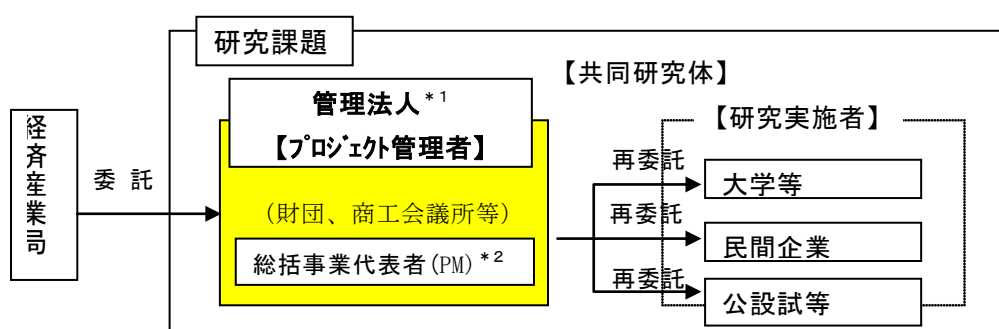
（経済産業省：提案公募型研究開発事業）

地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発資源の最適な組み合わせからなる研究体を組織し、最先端の技術シーズをもとに新製品開発を目指す実用化開発について、管理法人として支援した。

〔対象プロジェクト事業等〕

区分	対象となる産業分野，研究課題
一般型	新製品開発を目指す実用化技術の研究開発支援を通じて、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出（農林水産事業に係るものを含む。）に貢献しうる製品等の開発。ブロック経済を超える程度に広域的にイノベーションを起こす可能性のある研究開発。
地域資源活用型	地域に存在する資源（地域資源，地域技術等）を活用した、新製品の開発を目指す実用化技術の研究開発を通じて、新たな需要を開拓し、地域の新産業・新事業の創出（農林水産事業に係るものを含む。）に貢献しうる製品等の開発。県域を超えブロック経済にイノベーションを起こす可能性のある研究開発。

〔制度スキーム〕



*1 管理法人：プロジェクトの運営管理、共同研究体構成員相互の調整を行う。研究実施も可能。

*2 総括事業代表者（PM）：事業全体の方針決定、工程管理、プロジェクト全体の進捗管理を行う者。

〔平成22年度（補正予算）からの継続研究開発テーマ〕

次のテーマは、前年度からの繰越事業で、かつ研究開発期間が単年度であり、各サブテーマの研究開発の推進し研究開発成果をとりまとめるとともに、事業化計画の検討を行った。

テーマ名	ノンレアメタル半導体蓄電池製造用VHFプラズマCVD装置の研究開発
総括事業代表者	グエテックノロジー(株) 取締役副社長 部屋本 圭一
研究開発の概要	【レアメタルを使用しない次世代型蓄電池の製造装置の開発】 現在、高性能蓄電池の製造においては、原料となるレアメタルの調達、あるいは製造コストなどが問題となっている。本研究では、マグネシウムや亜鉛などの調達しやすい金属を原料として、原子と電子に分離しガス状にして基板上に堆積させる方法により、リチウムイオン電池の10倍の性能を有する高性能な半導体蓄電池を大量生産できる技術を開発する。
主な研究開発の成果	①VHFプラズマCVD装置の基本仕様及び基本設計策定、納入装置の性能試験を実施し、実験装置を立ち上げた。 ②VHF酸素プラズマ中にMg系、Zn系原料ガスを導入することで、MgZnO微粒子の気相成長・薄膜堆積プロセス、これらの結果を応用した半導体蓄電池薄膜作製に関する研究開発を行った。
研究実施者	グエテックノロジー(株)、(株)アドテックプラスマテクノロジー、広島大学〔先端物質科学研究科〕、九州大学〔総合理工学研究院〕
研究開発期間	平成23年3月～平成24年2月

⑤ 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業

(国 85,017 千円)

(経済産業省：提案公募型研究開発事業)

ものづくり産業の新たな事業分野の開拓を実現するため、中小企業のものづくり技術と医療機関及び研究機関等との「医工連携」により、医療機器の開発・改良等を加速させる研究開発を事業管理機関として支援した。

〔対象事業〕

- ① 医療現場からのニーズが高く、課題解決に資する研究課題の選定
- ② 地域の特徴あるものづくり技術（切削、精密加工、コーティング等）を有する中小企業等と、それらの課題を有する医療機関や研究機関等とが連携した「医工連携」による医療機器の開発・改良
- ③ 臨床評価、実用化までの一貫した取り組みへの支援

【医療現場のニーズ・課題例】

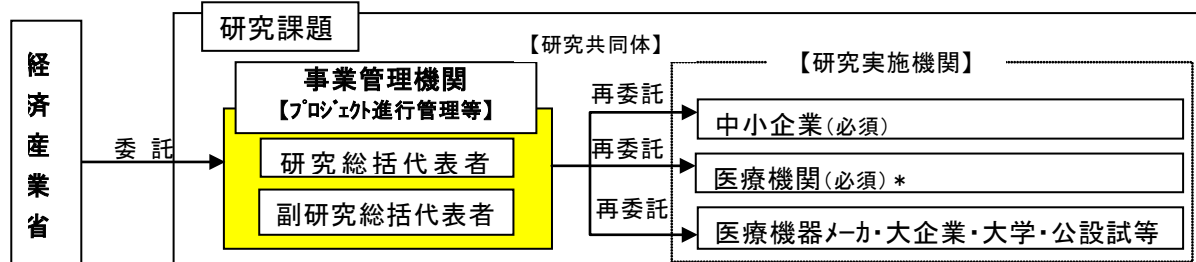
- ・ 新型インフルエンザ、口蹄疫等に対するオンサイト型の診断システム
- ・ 迅速なワクチン投与が可能な注射器
- ・ 操作が簡便、小型の人工呼吸器
- ・ 発ガン性のあるホルモリンに代わる滅菌器等

【解決の鍵となるものづくり技術例】

- ・ 切削、精密加工技術
- ・ 高精度金型技術
- ・ 精密プレス加工技術
- ・ コーティング技術
- ・ プラスチック成型技術
- ・ 電子部品実装技術等

我が国の医療の質の向上と、ものづくり産業の持続的成長

〔制度スキーム〕



* 研究共同体への医療機関の参画は、部材に係る開発・改良事業等以外、原則、必須

〔平成 22 年度（補正予算）からの継続研究開発テーマ〕

次のテーマは、前年度からの繰越事業で、かつ研究開発期間が単年度であり、各サブテーマの研究開発の推進し研究開発成果をとりまとめるとともに、事業化計画の検討を行った。

また、経済産業省における最終評価への対応を行うとともに、成果報告シンポジウムにおいて、研究成果の発表を行った。

テ ィ マ 名	安心・安全な歯科医療を実現する純国産の早期治療型歯科インプラントの開発
総括研究代表者	トーヨーエイテック(株) 新商品開発部 主 幹 中谷 達行
研 究 開 発 の 概 要	我が国の歯科医療現場では現在、外国製品が主流であるインプラントを顎骨不足の患者に治療できないケースがあり、信頼性の確保も不十分という喫緊の課題がある。 そこで地域の特色あるものづくり技術(MIM・研削・コーティング)を結集し、高強度・高精度なチタン基材、及び骨分化を促進する DLC コート技術を活用することで、低侵襲かつ早期治療を可能とする純国産の高付加価値・低コストな歯科インプラントの開発を行う。
主な研究開発の成果	①純 Ti/6Al-4V-Ti 合金の MIM ハイブリッド成型によるインプラント体基材の成型を実現した。・FEM (2D 並びに 3D 解析) に必要なプログラムの開発を完了した。・ガイドライン (ISO14801) 準拠の疲労試験を実施した。 ②研削機構を組み合わせた多軸複合加工機を完成した。・これを用い MIM 成型インプラント体の内径勘合部の研削を行い、表面粗さ、精度の向上を確認した。 ③DLC の密着性を改良した。また溶射密着性試験 (JIS8666) で評価した結果、アパタイトの密着強さに対し、4 ～ 10 倍の引張荷重においても、当 DLC は全く剥離しない事が確認された。 ④純 Ti の MIM 基材の GLP 基準生物学的安全性試験を実施した結果、8 項目全て合格であった。 ⑤ <i>in vitro</i> 試験により、一定以上の DLC 含有水素量は破骨細胞分化を抑制することが示唆された。
研 究 実 施 者	トーヨーエイテック(株), (株)キャストム, (株)ジーシー, 広島大学〔医歯薬学総合研究科〕, 近畿大学〔工学部〕
研究開発期間	平成 23 年 3 月～平成 24 年 2 月

⑥ 医工連携推進事業【新規】 (16,785 千円)

ものづくり技術と医療・福祉・健康分野の研究資源を結合させた新たなビジネスモデルの創出を図るため、国及び県の支援を受け、医工連携による研究開発や事業展開に対する支援を行った。

○ 地域イノベーション戦略支援プログラム事業 (国 9,670 千円)

地域連携コーディネータ（人間医工学次世代自動車担当、医療関連機器担当各 1 名）を配置し、各大学の医学・工学系研究者や関係機関のコーディネータ等と連携を図りながら、自動車関連メーカーとその関連企業、医療機器・部材関係企業などと大学研究者が円滑に製品開発に向けた共同研究を実施できる体制づくりなど、医工連携による新たな製品・ビジネスモデルの開発に繋がる取組の支援を行った。

○ 医療関連産業クラスター形成事業 (県 7,115 千円)

医療関連分野における県内企業の新たな研究開発や事業展開を目指した取組みを支援するため、平成 23 年 11 月に「ひろしま医療関連産業研究会」を設立し（会員数 104（うち企業 81、大学等 7、支援機関他 16）H24.3.31 現在）、新規参入企業への導入セミナー、企業の課題に応じた専門家アドバイザーの派遣（派遣 2 回、メール相談 8 回）等を実施した。

〔セミナー・勉強会〕

区分	開催日	内 容	参加者
セミナー	H23. 11. 4	○医療機器ものづくりセミナー 「医療機器産業の動向と中小企業に期待したいこと」 テルモ株式会社 研究開発本部 開発戦略部 三澤主席研究員 ほか	172 名
	H24. 2. 3	○医療・バイオ機器ビジネス参入セミナー 「経済産業省における医療・福祉機器産業政策について」 経済産業省ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 佐藤氏 ほか	88 名
勉強会	H24. 1. 25	「速攻で医療市場に参入する注意点」 九州大学 大平教授	113 名
	H24. 2. 16	「医療機器参入の現状と課題」 NPO 医工連携推進機構 笠井専務	52 名
	H24. 2. 21	「医療機器開発の手法」 ケイ・アンド・ケイ ジャパン(株) 久保田社長	55 名
	H24. 3. 14	「医療機器産業の規制と展望」 ケイ・アンド・ケイ ジャパン(株) 久保田社長	64 名

(3) 広域的な連携

(4,585 千円)

企業立地促進法に基づき、市町村及び都道府県等で構成する地域産業活性化協議会及び関係機関（地域の経済団体、教育機関、民間企業等）と協働して取り組む「広域基本計画」を推進するため、経済産業省の支援を受けて、次の事業を中国地域の5県で連携・実施し、ネットワーク形成等を図った。（平成23年3月3日及び3月4日提案、平成23年4月13日採択）

○ 広域的産業集積活性化支援事業

(国 4,585 千円)

広域でのネットワークの形成・強化、販路開拓等の活動を行うため、セミナー、技術研究会及び専門展示会への共同出展に取り組んだ。

【○印:連携機関】

区 分		次世代自動車等	医療機器・介護・高齢者生活支援等関連	L E D	機能性食品等
鳥取	(財)鳥取県産業振興機構	○		○	○
島根	(公財)しまね産業振興財団	○		○	○
岡山	(財)岡山県産業振興財団	○	○		
広島	(公財)ひろしま産業振興機構	○	○	○	○
山口	(財)やまぐち産業振興財団	○	○	○	○

ア 次世代自動車等産業分野

中国地域が、リーディング産業である自動車関連産業の更なる競争力強化に向け、自動車関連産業のネットワーク構築等に連携して取り組むことにより、同産業の集積の形成及び活性化の促進を図る。自動車の電動化・電子化が見込まれる自動車関連分野の産業集積を活用して、中国5県が相互に連携・補完し、技術開発等に取り組んだ。

【連携機関: (財)鳥取県産業振興機構, (公財)しまね産業振興財団, (財)岡山県産業振興財団, (公財)ひろしま産業振興機構, (財)やまぐち産業振興財団】

(ア) 各県実施状況

中国5県の連携により構築されるネットワークを利用し、自動車メーカーなどのニーズや自動車関連業界の動向を中国地域全域に発信することにより、自動車メーカーと地域産業の連携を強化し、新事業の創出や技術力の向上を図った。

区 分	実 施 内 容
鳥取県	鳥取県自動車部品機能構造研究会 ○ セミナー開催 (2/22)
島根県	島根県次世代自動車等技術研究会 ○ セミナー開催 (3/16)
岡山県	岡山県次世代自動車関連技術研究会 ○ ニーズ発信会 (11/4) 及び講演会・ニーズ発信会開催 (12/8)
広島県	戦略的産業活力活性化研究会 (分科会含む) ○ ニーズ発信会 (9/5) 及び講演会開催 (6/30, 11/17, 3/23)
山口県	やまぐちブランド技術研究会 ○ 講演会開催 (2/13)

(イ) 技術開発事業

中国 5 県の連携により構築されるネットワークを利用し、自動車メーカーなどのニーズや自動車関連業界の動向を中国地域全域に発信することにより、自動車メーカーと地域産業の連携を強化し、新事業の創出や技術力の向上を図った。

〔戦略的産業活力活性化研究会〕

「ものづくり産業」の活性化と基幹産業の持続的発展を促進するため、本県に幅広く集積する自動車部品メーカーを中心とした研究会及び分科会を開催し、今後必要とされる「環境保護」、「安全性」、「情報化」などの技術分野における技術課題の抽出や効果的な取り組み方法等について検討し、広島県内に集積するコア技術を活用した新事業・新技術創出を支援した。

〔参画機関：167（産：140，学：11，官等：16）〕

開催日	内 容	参加者
H23. 9. 5	・今年度の事業概要説明 (公財)ひろしま産業振興機構 カーエレクトロニクス推進センター長 岩城 富士大 ・基調講演「今後の自動車開発と求められる技術」 マツダ(株) 取締役専務執行役員 金澤 啓隆 氏 ・地域カーメーカーからの技術ニーズ発信会（マツダ(株)） ①電動化領域（6テーマ），②知能化領域（5テーマ）， ③軽量化領域（8テーマ）	241名
H24. 3. 23	・講演① 「次世代自動車の電動化技術と地域ビジネス創出への取り組み」 広島大学 産学・地域連携センター 特任教授 勝代 健次氏 ・講演② 「ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点を活用した人間工学応用自動車共同研究プロジェクトについて」 マツダ株式会社 技術研究所長 農沢 隆秀氏 ・話題提供 「ひろしま医工連携・先進医療イノベーションに関する人材育成について」 広島大学 産学・地域連携センター 研究員 西山 晟人氏 ・情報提供 「自動車関連企業の皆様を支援するために」 広島県 次世代産業課 参事 井上 隆志氏	120名

〔リサイクル分科会〕

〔参画機関：43（産：29，学：4，官等：10）〕

開催日	内 容	参加者
H23. 6. 30	合同分科会「ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点 講演会&施設見学会」 ・講演「人間工学を応用した自動車技術と医工連携への期待」 マツダ(株) 技術研究所 所長 農沢 隆秀 氏 ・研究事例紹介「ハイパーソニックエフェクト・セーフティデバイス研究の現状について」 (株)ディジフュージョン・ジャパン 技術開発担当 山本 竜太 氏 ・施設見学会	96名

〔エレクトロニクス化分科会〕

〔参画機関：126（産：101，学：9，官等：16）〕

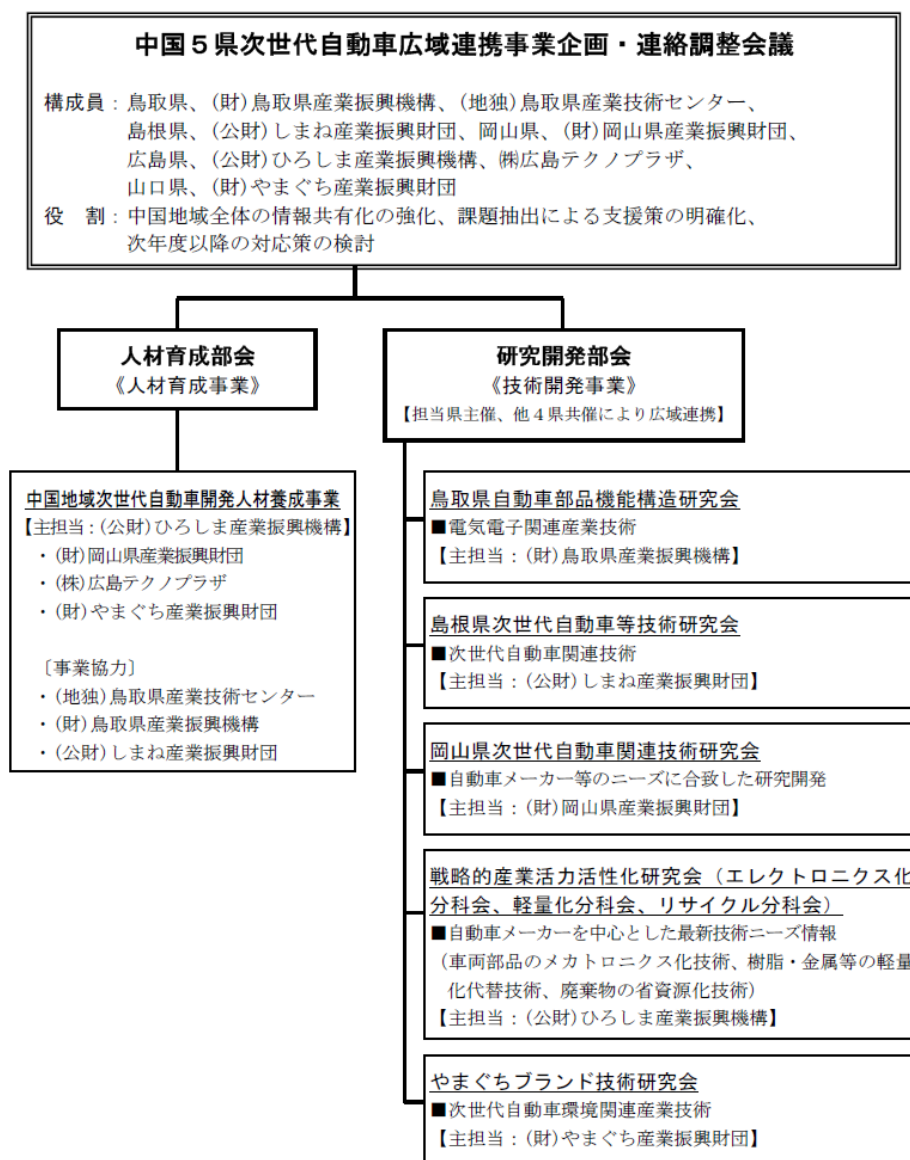
開催日	内 容	参加者
H23. 6. 30	合同分科会「ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点 講演会&施設見学会」	(再掲)

〔軽量化分科会〕

〔参画機関：81（産：62，学：5，官等：14）〕

開催日	内 容	参加者
H23. 6. 30	合同分科会「ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点 講演会&施設見学会」	(再掲)
H23. 11. 17	「自動車軽量化技術の最新動向に係る講演会」 講演①「次世代鋼製環境対応車 ―Future Steel Vehicle―」 株式会社神戸製鋼所 薄板商品技術部 次長 渡辺 憲一 氏 講演②「自動車車体用アルミニウム合金の適用事例」 株式会社神戸製鋼所 アルミ銅事業部 主任研究員 石飛 秀樹 氏 講演③「ポリプロピレン系複合材料の応用展開」 日本ポリプロ株式会社 第一材料技術センター長 新井 雅之 氏	114名

【連携体制】



イ 医療機器・介護・高齢者生活支援等関連産業分野

岡山県地域、広島県地域、山口県地域が、優れた「ものづくり」産業の集積を活かしながら地域経済を牽引する新たな発展性のある産業として位置づけている、医療・福祉機器関連産業のネットワーク構築等に連携して取り組むことにより、同産業の集積の形成及び活性化の促進を図っている。

【連携機関：(財)岡山県産業振興財団、(公財)ひろしま産業振興機構、(財)やまぐち産業振興財団】

(7) 専門展示会共同出展事業

ア) 関西メディカルテクノロジーE X P O（関西機械要素技術展）出展支援事業

平成23年10月5日（水）～7日（金）にインテックス大阪にて開催された関西メディカルテクノロジーE X P O（関西機械要素技術展）へ中国地域3県の共同展示ブースを設置し、医療機器関連メーカー関係者へ製品・技術のPRを行った。

期 間	平成23年10月5日（木）～7日（金）
場 所	インテックス大阪
出展企業負担	なし（オプション費用等は別途）
出 展 企 業 （出展小間数）	全体：688社・団体 〔中国地域ブース〕 ■岡山県：マックエンジニアリング(株)、(有)田中正製作所、富士ダイス(株)岡山製造所 ■広島県：エクセル(株) ■山口県：(株)サン精機、(有)伸和精工、(株)テクノウェル 合計：7社
延べ来場者数	延べ32,106人
成 果	商談成立：0件 見積依頼：1件 商談検討：23件（会期中現在）
そ の 他	集客効果を高め、また、効果的な出展とするため、次のとおり工夫ある取り組みを行った。 ◇オリジナル装飾 ◇中国地域ブース単独での出展企業パンフレットの作成、事前PR ◇事務局ブースで、中国地域ブースのPR ◇現地での出展者ワークショップの実施 ◇出展者による交流会の開催

中国3県地域の企業および支援機関等で「ちゅうごく地域医療機器関連産業クラスター」として、関西メディカルテクノロジーE X P O（関西機械要素技術展）に出展した。共同出展することにより中国地域外への事業PRが実施できた。

会期中、新規取引成立はなかったものの、後日訪問の約束などの今後の商談に繋がりそうな案件の報告など、広域展開で出展した効果があった。

イ) マッチングプラザ共同出展支援事業

平成23年6月14日（火）、15日（水）の2日間、岡山で開催された介護サービス博覧会おかやま～Newマッチングプラザ2011～へ中国地域3県の共同展示ブースを設置し、医療・介護関係者へ製品・技術のPRを行い、販路拡大を図った。

期 間	平成23年6月14日（火）、15日（水）
場 所	コンベックス岡山 中展示場

出展企業負担	なし（オプション費用等は別途）
出 展 企 業 （出展小間数）	全体：１２３社 〔中国地域ブース・２３社〕 ■岡山県：アイ・ソネックス(株)、(株)アスティコ、(株)ウェルパートナーズ、 (株)日健、吉備の国クラスター協議会、(株)スミクラ、 (株)ハートバード、(株)ヤマサキ、円岩盤石開発センター(株)、 美作大学技術交流プラザ、メディエリアサポート企業組合、 橋本義肢製作(株)、まさあき工房建築設計事務所、メカニカルサポート(株)、 (株)レバリージャパン ■広島県：(株)ルピナス、ＡＢＣインプローブ(株)、朝日ナショナル(株)アネット ■山口県：(有)環境造形、河内板金工業(株)、ユキ・エンジニアリング(株)
延べ来場者数	３，３００人
成 果	・商談成立５３件 ・見積依頼２６件 ・今後の商談検討１１６件 ・後日企業訪問等５１件・名刺交換枚数６７７件
そ の 他	集客効果を高め、また、効果的な出展とするため、次のとおり工夫ある取り組みを行った。 ◇オリジナル装飾 ◇中国地域ブース単独での出展企業パンフレットの作成、事前ＰＲ ◇事務局ブースで、中国地域ブースのＰＲ など

中国３県地域の企業および支援機関等で「ちゅうごく地域福祉機器関連産業クラスター」として、介護サービス博覧会おかやま～Newマッチングプラザ2011～に出展した。共同出展することにより中国地域外への事業ＰＲが実施できた。

会期中、新規取引成立（代理店としての契約）があったほか、見積もり依頼などの今後の商談に繋がりそうな案件の報告など、広域展開で出展した効果があった。

り) 国際福祉機器展共同出展支援事業

平成２３年１０月５日（水）～７日（金）、東京ビッグサイト 東展示場で開催された国際福祉機器展HCR2011へ中国地域３県の共同展示ブースを設置し、福祉関係者へ製品・技術のＰＲを行い、販路拡大を図った。

期 間	平成２３年１０月５日（水）～７日（金）
場 所	東京ビッグサイト 東展示場１～６ホール
出展企業負担	１５７，５００円（オプション費用等は別途）
出 展 企 業 （出展小間数）	全体：４９０社 〔中国地域ブース・８社〕 ■岡山県：(株)アスティコ、コートドール(有)、(株)コスモ情報システム、吉備の国 クラスター協議会、(株)レバリージャパン ■広島県：浦崎屋工房、丸善工業(株) ■山口県：(株)医療福祉工学研究所、(株)ナカオ
延べ来場者数	１１８，１５４人
成 果	・商談成立１４件 ・見積依頼６９件 ・今後の商談検討７１件 ・後日企業訪問等２３件 ・ビジネスパートナーの獲得１４件 ・名刺交換枚数７８１件

そ の 他	集客効果を高め、また、効果的な出展とするため、次のとおり工夫ある取り組みを行った。 ◇オリジナル装飾 ◇中国地域ブース単独での出展企業パンフレットの作成、事前PR ◇事務局ブースで、中国地域ブースのPR ◇現地での出展者ワークショップの実施 ◇出展者による交流会の開催
-------	---

中国3県地域の企業および支援機関等で「ちゅうごく地域福祉機器関連産業クラスター」として、国際福祉機器展に出展した。共同出展することにより、大きな小間を確保し、小間位置も比較的恵まれた場所に出展することが出来た。

会期中、新規取引成立はなかったものの、見積もり依頼やビジネスパートナーが見つかったなどの今後の商談に繋がりそうな案件などの報告など、広域展開で出展した効果があった。

(イ) セミナー開催事業

医療・福祉機器に関して、制度・法律や現場のニーズ、マーケティングなどに関して外部からの専門的な知識やスキルを持つ講師を招聘し、ネットワークを活用して技術の向上や事業化への流れを作ることを目的にセミナーを開催した。

《開催概要》

主 担 当 県	岡山県	広島県	山口県	合計
開 催 回 数	0 回	2 回	1 回	3 回
参 加 者 数 (延べ人数)	0 名	2 6 1 名	1 6 名	2 7 7 名

《開催詳細》

	開催日時	開催地域 (場所)	内 容 等
1	平成23年9月9日 13:30～16:25	広島地域 (八丁堀シヤンテ)	福祉用具ものづくりセミナー 【主担当】(公財)ひろしま産業振興機構 【出席者】89名〔内訳：岡山8, 広島77, 山口1, その他3〕 【内容】(タイトル) 演題①：「障害者を支える福祉用具」 講師①：尾道市公立みつぎ総合病院 リハビリテーション部 主任技師長 臂宏康 氏 演題②：「福祉用具産業の動向」 講師②：日本福祉用具・生活支援用具協会 事務局長 清水壮一 氏 演題③：「人にやさしい用具の開発」 講師③：丸善工業株式会社 代表取締役社長 相原將邦 氏
2	平成23年11月4日 13:00-17:05	広島地域 (八丁堀シヤンテ)	医療機器ものづくりセミナー 【主担当】(公財)ひろしま産業振興機構 【出席者】172名〔内訳：岡山8, 広島147, 山口6, その他11〕 【内容】(タイトル) 演題①：「医療機器産業の動向と中小企業に期待したいこと」 講師①：テルモ株式会社 研究開発本部 開発戦略部

			主任研究員 三澤裕 氏 演題②：「医療機器ビジネスの特徴と中小企業」 講師②：NPO法人 医工連携推進機構 理事 西尾治一 氏 演題③：「医療機器分野の実情とものづくり企業の参入体験による課題解決」 講師③：株式会社スズキプレシオン 代表取締役会長 鈴木庸介 氏
3	平成23年12月8日 13:00～17:00	山口地域 (山口グランドホテル)	福祉機器関連産業ものづくりセミナー 【主担当】(財)やまぐち産業振興財団 【出席者】16名〔内訳：岡山0, 広島2, 山口14, その他0〕 【内容】(タイトル) 演題①：「住環境から見る福祉機器開発の視点」 講師①：介護環境研究所 代表 金澤善智氏 演題②：「介護予防の現場から健康寿命の延伸に必要なことを考える」 講師②：公立大学法人山口県立大学 看護栄養学部看護学科教授 眞竹昭宏 氏

各地域においてセミナー・研修事業等の企画を立案するにあたり、他地域において開催された状況を参考に、テーマ設定や講師の招聘を行うなど、企画面における連携が図れ、それぞれの地域に有用な情報の発信が図れた。

また、合計3回のセミナーを開催したが、全ての開催において主催県以外の複数県から参加者があり、広域展開した一定の成果があったと認められる。

(ウ) 福祉用具商品化支援事業

企業が開発した福祉用具製品について、より現場に即した商品となるように、また、現場のニーズにマッチしているかどうかや、現場での試用に耐えるか否かについて判断するため、研究者や施設従事者などからなる評価委員会及びワークショップなどを開催し、企業が開発した福祉用具や技術等の評価を行った。

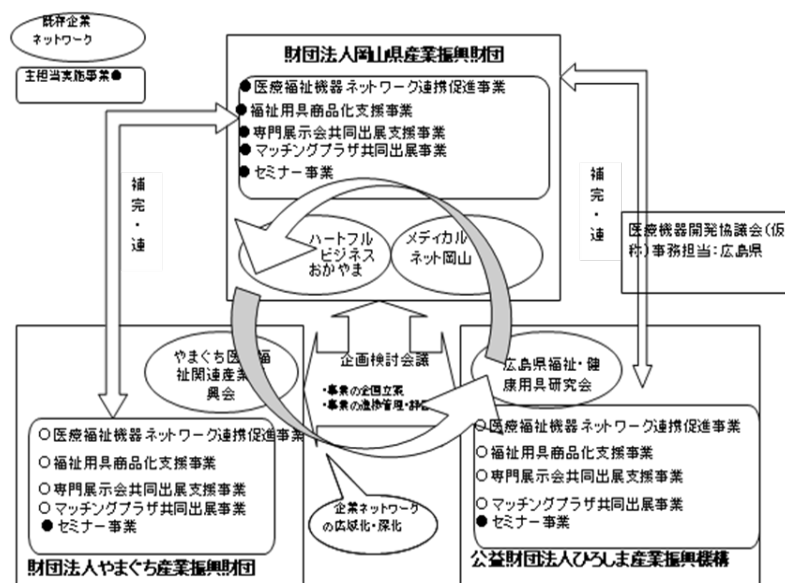
	開催日時	開催地域(場所)	内 容 等
1	平成23年12月1日 15:00～17:30	岡山地域 (岡山ロイヤルホテル)	第1回商品化支援委員会及びワークショップ 【内容】 企業：①まさあき工房(岡山県)、②メディエリアサポート企業組合(岡山県) 製品：認知症要介護者利用施設、(仮)EGSシステム 参加者：27名
2	平成24年2月27日 14:30～16:50	岡山地域 (岡山ロイヤルホテル)	第2回商品化支援委員会及びワークショップ 【内容】 企業：①㈱コスモ情報システム(岡山県)、②ふる里プロダクト㈱(広島県)、③下松海陸産業㈱(山口県) 製品：①生活支援装置Soi・Soileger、②体を温める用具・用品の除菌、③階段の昇降補助装置 参加者：20名

広島県からは第2回の委員会に企業が参加し評価を受けた。販路や設置、利用状況の確認など今後の商品開発・改良に繋がる内容等の指摘を受けた。

(エ) 医療福祉機器ネットワーク連携促進事業

平成20年度より、経済産業省が高齢化社会の進展への対応等の観点から導入した福祉用具に関するJISマーク認証や安全基準等についての知識を深めるため、福祉用具における安全性を試験・評価する機関である福祉用具評価センターを視察し、中国地域の福祉用具関連企業の研究開発を促進するとともに業界情報の共有やネットワークの拡大を図った。

	開催日時	場 所	主な内容
1	平成23年10月21日 13:30～16:30	一般社団法人日本福祉用具評価センター (JASPEC)	講演：福祉用具評価センターの紹介と製品評価 一般社団法人福祉用具評価センター センター長 鈴木 寿郎 氏 施設内見学（製品評価デモの見学等） 質疑応答
2	平成24年2月17日 14:00～16:30	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	①兵庫県立総合リハビリテーションセンターの紹介 ②福祉のまちづくり研究所見学 ③福祉用具展示ホールの見学 ④ウェルフェアテクノハウス神戸の見学



ウ LED関連分野

鳥取県地域、島根県地域、広島県地域、山口県地域が、液晶バックライトや照明として今後成長が見込まれるLED関連産業について、相互に連携・補完し、人材育成やネットワーク構築等に取り組むことにより、同産業の集積の形成と活性化の促進を目指している。

【連携機関：(財)鳥取県産業振興機構、(地独)鳥取県産業技術センター、(公財)しまね産業振興財団、(公財)ひろしま産業振興機構、(財)やまぐち産業振興財団】

(ア) セミナー・研修開催事業

本県のLEDの技術研究会（ひろしまLED応用技術研究会）の設立の際、事業拡大・新規参入の分野として期待されているLED応用製品について、大手メーカーの戦略や最新の市場動向などの理解を深め、中国地域でのビジネスチャンス拡大を目指したセミナーを開催した。

また、年度後半においては、様々な用途へ展開されつつあるＬＥＤ光源の用途開発動向などの講演とともに、広島県内ＬＥＤ関連企業の取組を紹介するセミナーを開催した。

	開催日時	開催地域 (場所)	内容等
1	平成23年7月4日 14:00～17:05	広島地域 (福山ニューキャッスルホテル)	ＬＥＤ産業セミナー 【主担当】(公財)ひろしま産業振興機構 【参加者】127名 [内訳:鳥取2, 島根5, 広島113, 山口2, その他5] 【内容】(タイトル) 講演①「ＬＥＤ関係市場動向とシャープ(株)における取組 みにについて」 講師 シャープ(株)電子デバイス事業本部ＮＢ事業化推進センター センター長 河西秀典 氏 講演②「東アジア地域におけるＬＥＤ照明産業と国際標準化の動向」 講師 Grana ge L L P 代表 石田のり子氏 講演③「ＬＥＤ等計測・評価試験室のご紹介」 講師 広島県立総合技術研究所東部工業技術センター加工技術研究部 主任研究員 廣川勝久 氏
2	平成23年7月21日 14:00～17:30 (その他、県単独の セミナー併催)	山口地域 (地独)山口県産業技術センター)	ＬＥＤ講演会 【主担当】(財)やまぐち産業振興財団 【参加者】81名 [内訳:広島4, 山口74, その他3] 【内容】(タイトル) 講演①「大震災復興への課題電気エネルギー抜本的削減とは？」～変革するＬ ＥＤ照明環境負荷低減へのソリューション～ 講師 一般社団法人ＬＥＤ光源普及開発機構代表理事 小林治彦 氏 講演②「日本電球工業会ＪＥＬ８０１は世界基準となるか？」～Ｌ１６口 金では日本はガラパゴスになってしまう～ 講師 神農流通(株)ＬＥＤ本部販売課 課長 井上浩 氏
3	平成23年7月28日 13:00～16:20	島根地域 (浜田ステーションホテル)	ＬＥＤ応用技術セミナー 【主担当】(公財)しまね産業振興財団 【参加者】45名 [内訳:鳥取1, 島根31, 広島9, その他4] 【内容】(タイトル) 講演①「車載用ＬＥＤ照明技術と課題」 講師 市光工業(株)コアエンジニアリング部シミュレーション課 上級技師 菊池和重氏 講演②「照明向けＬＥＤの最新動向」 講師 オスラム(株)オプトセミコンダクターズアプリケーションエンジニアリング マネージャー 近藤美治 氏
4	平成23年9月27日 13:00～16:20	島根地域 (浜田ステーションホテル)	ＬＥＤ応用技術セミナー 【主担当】(公財)しまね産業振興財団 【参加者】48名 [内訳:鳥取2, 島根31, 広島11, その他4] 【内容】(タイトル) 講演①「ＬＥＤ照明のための電源」 講師 リニアテクノロジー(株) Senior FAE 原田秀一氏 講演②「改正電気用品安全法とＬＥＤ照明器具」 講師 P S Eジャパン(株) 代表取締役 樋山泰亮 氏
5	平成23年11月24日 13:15～17:00	鳥取地域 (地独)鳥取県産業技術センター)	ＬＥＤセミナー 【主担当】(財)鳥取県産業振興機構 【参加者】60名 [内訳:鳥取55, 広島2, その他3] 【内容】(タイトル) 講演①「日本におけるＬＥＤ照明の現状と未来～法令整備と技術動向～」 講師 N P O法人ＬＥＤ照明推進協議会 事務局次長 松本 稔 氏 講演②「高輝度白色ＬＥＤの最新パッケージ技術と各国のＬＥＤ照明の 取り組み」 講師 サンユレック(株) 代表取締役社長 奥野敦史 氏
6	平成24年2月23日 13:30～16:00	鳥取地域 (地独)鳥	ＬＥＤセミナー 【主担当】(財)鳥取県産業振興機構

	取県産業技術センター)	【参加者】 30名 [内訳：鳥取27, 広島3,] 【内容】 (タイトル) 講演「日本における道路照明の現状とLED化への課題～LED照明の特徴・課題と将来展望～」 講師 星和電機株式会社システム企画推進本部 部長補佐 竹之内光彦 氏
--	-------------	--

県 別	鳥取県	島根県	広島県	山口県	計
開催回数	2回	2回	1回	1回	6回
参加者数 (延人数)	90名	93名	127名	81名	401名

(イ) マッチング事業

4県地域に所在するLED関連企業や大学等研究機関などを対象に、各機関が保有する「技術シーズ」や、各機関が現在求めているLEDに関する「開発ニーズ」を提示してもらう場として、平成24年1月27日に福山ニューキャッスルホテルにて「LED関連産業技術交流会」を開催し、プレゼンテーションや展示を行い、事業マッチングの機会・場を提供した。

< LED関連産業技術交流会 >

期 日	平成24年1月27日(金)
場 所	福山ニューキャッスルホテル(福山市)
発表出展企業	■鳥取県： (株)DSコーポレーション、光電気通信システム(株) ■島根県： ア Kred照明(株)、(株)島根電子今福製作所、(株)トリコン ■広島県： オー・エイチ・ティー(株)、(株)アイルネット、(株)タテシ広美社、JFEテクノリサーチ(株)、デジタルソリューション(株) ■山口県： 河内板金工業(株)
来 場 者 数	133名 [内訳：鳥取7, 島根19, 広島97, 山口9, その他1]
名 刺 交 換	93名
商 談 件 数	15社(アンケート調査にて)
後 日 訪 問	9社(アンケート調査にて)

発表出展企業の展示場では、技術的な質問、サンプル引合い、価格問合せ等の商談があった。また、発表出展企業間でサンプル引合い等の商談に繋がる案件もあった。

発表出展企業の独自製品や保有技術について、技術・製品の説明、展示見学、個別商談会とした交流会進行実施の効果があった。

(ウ) 販路開拓事業

4県地域が共同出展した「第4回 LED Next Stage 2012」(東京国際展示場)に県内から出展した(株)アイルネット、シグマ電機工業(株)、BEECH【(有)シッパペイント藤田】に対し、顧客となる企業担当者の来場調整等の積極的な支援を行った。

< 第4回 LED Next Stage 2012 >

期 間	平成24年3月6日(火)～9日(金)
場 所	東京国際展示場[東京ビッグサイト]西1・2ホール
出展企業負担	小間料5.25万円/0.5小間
出展企業 (出展小間数)	全体：340社682小間(主催者発表) [中国地域ブース]合計：10社(8小間) ■鳥取県： アロー産業(株)(0.5小間)、(株)DSコーポレーション(0.5小間)、(株)三友(1小間) ■島根県： (株)島根電子今福製作所(0.5小間)、(株)トリコン(0.5小間) ■広島県： (株)アイルネット(1小間)、シグマ電機工業(株)(1.5小間)、BEECH【(有)シ

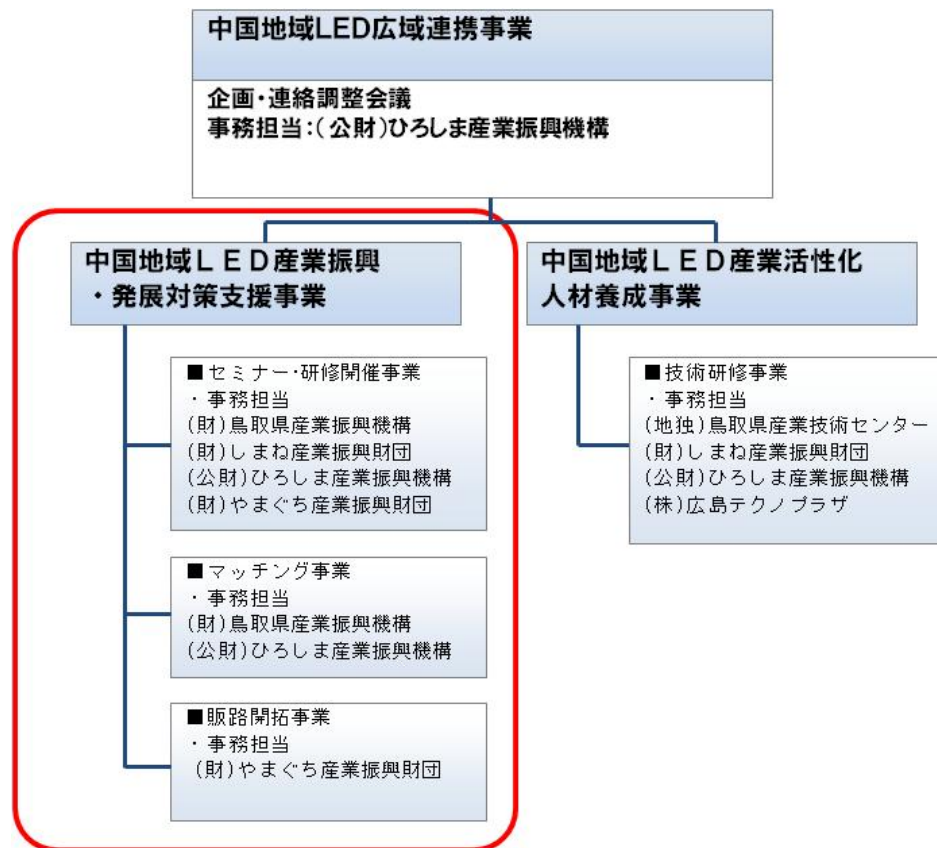
	ップペイント藤田】（0.5 小間） ■ 山口県：（株）ストロベリーメディアアーツ（1.5 小間）、河内板金工業（株）（0.25 小間） ■ 共 用：共用通路および商談スペース（0.25 小間）、別途ストックルーム確保
延べ来場者数	69,191 名
商 談 件 数	会期中アンケート 721 件 （相談（名刺交換・商談説明等）、後日訪問、打ち合わせ等、見積り依頼 の集計数）
成 約 件 数	会期中アンケート 1 件
成 約 金 額	会期中アンケート 30 千円
そ の 他	B E E C H【（有）シップペイント藤田】（広島県）は、展示会開催直前に会長逝去とのことで、展示品の展示・小間対応が困難になり、他の出展企業が有効に活用した。

4 県地域の企業及び支援機関で「ちゅうごく地域LED産業クラスター」として、「第4回LED Next Stage 2012」に出展した。共同出展することにより8小間という大きな小間を確保し、小間位置もメイン通路沿いに出展することが出来た。

また、共同出展企業の中から、希望する2社が主催者プレゼンテーションへ参加し、自社技術・製品の発表を行った。

会期中は、来場者も多く、新規取引成立や、見積り依頼など今後の商談に繋がりそうな案件報告など、広域展開で出展した効果があった。

【連携体制】



エ 機能性食品等産業分野

鳥取県地域、島根県地域、広島県地域、山口県地域が、国民の「健康で長生き」することへの関心の高まりを背景に、食品の高機能化、高付加価値化に繋がると期待される健康食品産業のネットワーク構築等に連携して取り組むことを目的とし、同産業の集積の形成及び活性化の促進を図り、それを通して連携する集積業種についての産業集積と活性化を目指している。

【連携機関：（財）鳥取県産業振興機構、（公財）しまね産業振興財団、（公財）ひろしま産業振興機構、（財）やまぐち産業振興財団】

(7) シーズニーズマッチング事業

開発ニーズを持った広島県内の企業に対し、しまね産業振興財団コーディネータによる派遣を実施。

実施企業	都吹(株)
マッチング先	岡山県工業技術センター
テーマ	産業廃棄物「おから」の有効活用について

(イ) 専門展示会共同出展支援事業

《食品開発展2011 専門展示会》

10月5日から7日まで東京ビッグサイトで開催された食品開発展へ4県共同展示ブースを設置し、国内外食品関連企業等への販路拡大を図った。

また、来場者との接触以外にも、出展社間によるマッチングも図れるなど、広域連携の効果が認められた。

期 間	平成23年10月5日（水）～7日（金）
場 所	東京ビッグサイト西展示棟 西1・2ホール&アトリウム
出 展 企 業 負 担	小間料10万円／小間
出 展 企 業 （出展小間数）	〔中国地域ブース〕 ■鳥取県【2社】：カンダ技工(有)（0.5小間） タングルウッド(株)（0.5小間） ■島根県【2社】：(有)奥出雲薔薇園（0.5小間） (株)セイシン企業（0.5小間） ■広島県【7社】：リョーコクシヨウジ(株)（0.5小間） アイオ(株)（0.5小間） イトク食品(株)（0.5小間） (株)広島ヤンマー商事（0.5小間） (株)エヌブイシー（0.5小間） (株)東洋サブリ（0.5小間） 万田発酵(株)（1小間） ■山口県【3社】：新日本製薬(株)岩国本郷研究所（1小間） (株)タカマ（0.5小間） (株)新日配薬品（0.5小間） 合計：14社（8小間）
延 べ 来 場 者 数	40,508人
商 談 件 数	相談件数：1,349件、後日訪問予定：278件、見積依頼：79件
成 約 件 数	会期中4件
そ の 他	◆集客効果を高め、効果的な出展とするため以下の通り工夫ある取組みを行った。 ・オリジナル装飾（地域連携や統一感をアピール、回遊性のあるオープンな装飾） ・中国地域オリジナルの出展企業ガイドブックを作成 ・4県地域共有スペースを設け、各県の取組みなどを紹介

《天下の台所 個別商談会》

12月7日に大阪産業創造館にて開催された天下の台所へ4県共同で出展し、国内外食品関連企業等への販路拡大を図った。

期 間	平成23年12月7日（水）
場 所	マイドームおおさか 3F
出 展 企 業 負 担	なし
出 展 企 業 （出展小間数）	〔中国地域ブース〕 ■鳥取県【2社】：カンダ技工(有) (株)ファイナル ■島根県【1社】：(株)しまテラス ■広島県【5社】：中国化薬(株) (株)ピーターパン (株)エヌブイシーよしの味噌(株) イトク食品(株) ■山口県【1社】：吉田屋醤油(有) 合計：9社
延 べ 来 場 者 数	938人
商 談 件 数	相談件数：249件、後日訪問予定：23件、見積依頼：18件
成 約 件 数	なし
そ の 他	相乗効果を期待し、同時開催（同フロアー）として大阪産業創造館でバイヤー・調達担当者が出展する「逆見本市」イベントや1F・2Fでは南都銀行主催の商談会も実施

(ウ) セミナー事業

専門的知識やスキルを有する外部講師による講演や他県のコーディネータ、産業技術センター職員による活動成果報告など発信し、情報共有や県内外の広域的なネットワークの構築・強化を図るとともに、他地域との産学官連携の強化、新技術開発、販路拡大等を促進した。

合計4回のセミナーを開催したが、全ての開催において主催県以外の複数県から参加者があり、広域展開した一定の成果があったと認められる。

主 担 当 県	鳥取県	広島県	合計
開 催 回 数	2回	2回	4回
参 加 者 数 （延べ人数）	109名	167名	276名

《開催詳細》

	開催日時	開催地域 （場所）	内 容 等
1	平成23年11月18日 14:30～17:00	広島県 （広島ガーデンパレス）	「フードテクノひろしま」平成23年度第3回研究会 【参加者】79名（島根1、広島78） 【講 演】 ①「女性客の心を掴む五感に響く商品づくり」 （株）ハーストリープラス 代表取締役 佐藤 緑 ②「変容しつつある消費行動と小売業マーケティング」 （株）フレスタ 商品本部福本部長（兼）商品企画部長 波木 明成

2	平成 24 年 2 月 27 日 14 : 30 ~ 17 : 15	広島県 (広島ガーデンパレス)	「フードテクノひろしま」平成 23 年度第 4 回研究会 【参加者】88 名（山口 1、広島 87） 【講演】 ①「新品種『イエローベル』について」 広島県立総合技術研究所 広島レモン利用促進プロジェクトチーム 金好 純子 ②「レモンの機能性について」 広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター 坂田 勉 ③「『瀬祭』の事業戦略」 旭酒造(株) 代表取締役 桜井 博志 ④「オルニチンの抗疲労効果」 協和発酵バイオ(株) ヘルスケア商品開発センター 西村 明仁
3	平成 23 年 11 月 22 日 13 : 30 ~ 17 : 00	山陰地域 (くにびきメッセ)	機能性食品産業化セミナー（山陰地区第 1 回） 【主担当】(財)鳥取県産業振興機構 ※(公財)しまね産業振興財団と共同開催 【参加者数】60 名（島根 34、広島 5、鳥取 18 山口 3） 【内容】（タイトル） ①「食品の機能性評価・探索・検証から成分同定へ」 (財)日本食品分析センター 彩都研究所 機能性科学研究チーム 課長補佐 三嶋 隆 ②「中国地域機能性食品等関連企業の製造受託の状況について」 事業紹介 〈発表者〉 ・カンダ技工(有) ・甲陽ケミカル(株) ・ヤマノ(株) ・クロレラサプライ(株) ・宝積飲料(株)
4	平成 24 年 3 月 23 日 13 : 30 ~ 15 : 30	山陰地域 (米子ワシントンホテルプラザ)	機能性食品産業化セミナー（山陰地区第 2 回） 【主担当】(財)鳥取県産業振興機構 ※(公財)しまね産業振興財団と共同開催 【参加者数】49 名（島根 9、広島 1、鳥取 39） 【内容】（タイトル） ○「通信販売市場の動向と、食品・機能性食品通販の方向性」 (社)日本通信販売協会 理事・主幹研究員 柿尾 正行

(エ) 専門家派遣事業

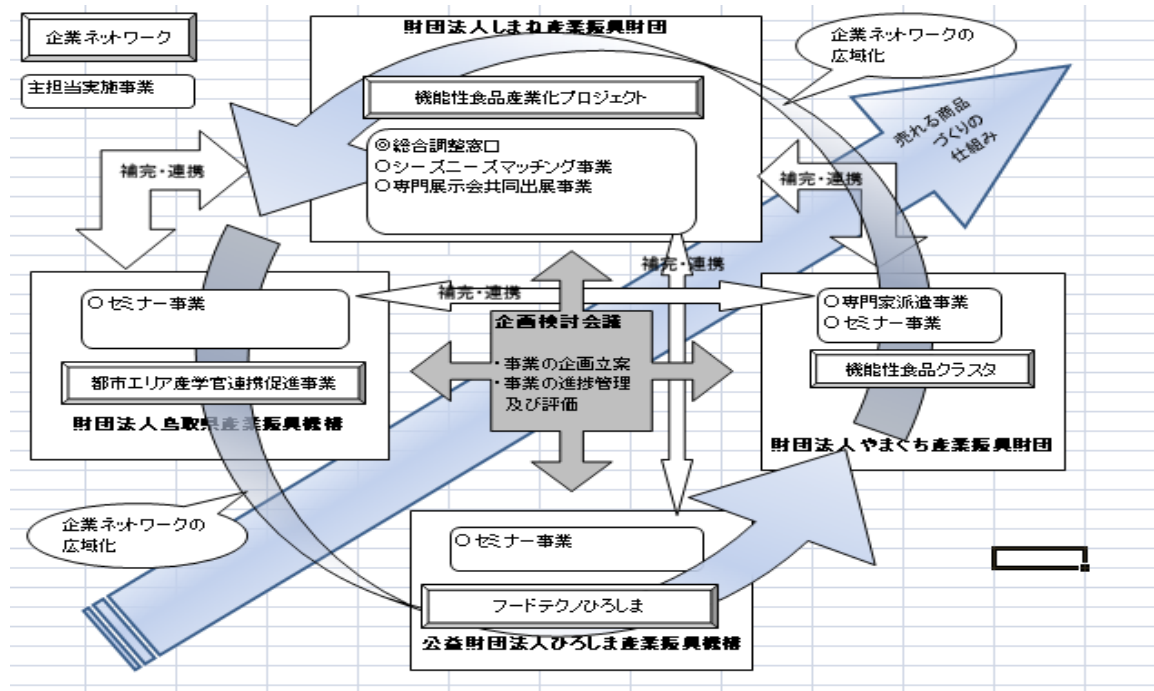
企業が商品開発する際や販路開拓を考える際に直面する課題を解決するため、各企業ニーズに合致した適切な専門的知識やスキルを持った者を必要に応じて専門家として派遣した。
実施に当たっては、やまぐち産業振興財団がとりまとめ窓口となり、事業を実施した。

県別	鳥取県	島根県	広島県	山口県	合計
山口県（窓口）	2 回	2 回	5 回	1 2 回	2 1 回

- ・ 表示に関する専門家を企業に派遣し、専門展示会等の出展に向けた表示内容の方向性を指導した。（「食品：機能性の表示」に関するアドバイスの提供を実施した。）

- ・ 個別に販路開拓支援や販売に向けた条件面の調整等のコンサルティングを行うとともに、ネットワークを活用することによって、特に首都圏に対する販路開拓を効果的に行うために機能性食品や健康食品の販路に精通した専門家を派遣した。（今後の販路開拓に向けた商品ラインナップの提案、販路開拓に向けたアドバイスの提供を実施）

【連携体制】



(4) 技術交流の促進

(2,330 千円)

県内における新規産業の持続的出現を図るため、技術交流の促進を図ることにより、新規事業の芽を発掘し新規産業として育成を行う事業を実施した。

① 技術シーズ発掘事業

(県 670 千円)

大学等の研究内容を新産業に結びつける可能性を発掘するため、企業、コーディネータ等と大学の研究室等を訪問し、研究内容の説明を受けるとともに事業化に向けた意見交換等を実施した。

回	実施日	訪問研究室	参加者
1	H23. 8. 4	広島工業大学 工学部 機械システム工学科 王 栄光 准教授 ○防食を中心とした金属材料の表面改質と機能性評価	53名
2	H23. 9. 28	広島大学 大学院工学研究院 物質化学工学部門 大山 陽介 准教授 ○有機蛍光性色素のオプトエレクトロニクスデバイスへの新展開	31名
3	H23. 10. 11	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 加工技術研究部 薄膜加工グループ ○薄膜作製及びMEMS技術を用いた製品の高機能化、小型化に関する研究	29名
4	H23. 10. 28	広島国際大学 工学部 機械ロボティクス学科 河野 進 教授 ○各種自動機械の開発（カキ採苗連製作装置、クレーン振れ止め制御装	49名

		置,トンネル非破壊検査装置等)	
5	H23. 11. 8	近畿大学 工学部 知能機械工学科 黄 健 准教授 ○ハプティックデバイスを用いた力感覚の提示	29名
6	H23. 11. 29	広島大学 工学研究科 機械物理工学専攻 山本 元道 准教授 ○高能率化・高品質化を実現する溶接・接合技術の開発と実用化	59名
7	H23. 12. 15	広島大学 大学院 工学研究院 材料・生産加工部門 佐々木 元 教授 ○多機能型高熱伝導金属基複合材料の開発と微視的組織制御	34名
8	H24. 1. 25	福山大学 工学部 ロボット工学科 沖 俊任 准教授 ○自動制御系の高機能化、レスキューロボット	24名
9	H24. 2. 24	広島工業大学 大学院工学系研究科 情報システム科学専攻 小川 英邦 准教授 ○安全生活支援情報システム、介護・看護支援情報システム	34名

研究室訪問終了後、フォローアップ調査を実施し、ニーズ発掘・マッチング活動を展開するため、90社の企業訪問を行い、1件の共同研究成立や5件の技術指導・相談等へ結び付けている。また、今年度は新たな研究会を設立した。〔H24. 3. 31 現在〕

② 次世代産業創出促進事業

(県 685 千円)

今後大きく成長が見込まれ新たな振興を行うべき産業分野について、広島県における調査研究を踏まえ、産学における取組の誘発を目的とし、セミナー等を実施するため企画・検討した。

開催日	内 容	参加者
H23. 11. 24	○2011 オープンイノベーション 知財マッチングセミナー in 広島 ○事例紹介「セラピカ キレイ」 セーラー万年筆(株) 天応工場 研究課 高橋 英俊 ○大企業からのシーズ・技術（特許）プレゼンテーション ①「技術シーズのご紹介～特許ライセンス活用ビジネスのご提案～」 富士通(株) 知的財産権本部 稲本 裕 ②「日産自動車のライセンスビジネス ～シーズ技術および知財活用例の紹介～」 日産自動車(株) 経営企画本部 村上 厚史 ③「活用いただけるマイクロソフト テクノロジーのご紹介」 日本マイクロソフト(株) イノベーションセンター本部 田丸 健三郎 ○シーズ・技術（特許）展示紹介・相談会 富士通(株)、日産自動車(株)、日本マイクロソフト(株)	57 名
H24. 3. 23	○環境ビジネスセミナー ○講演 ①「中国水ビジネス市場参入のための戦略」 (株)ナガオカ 代表取締役社長 三 村 等 ②「アジアにおける環境・リサイクルの現状とそのビジネス展開の可能性」 (独)日本貿易振興機構 アジア経済研究所 新領域研究センター 環境・資源研究グループ長 小島 道一 ○広島県から説明 ・「環境浄化産業クラスター形成事業」	107 名

③ 共同研究支援事業

(県 975 千円)

新技術の利用、産学官の共同研究等を促進するため産業界のニーズの高いテーマについて技術の開発動向、利用方法等に関する研究会を支援し、また、大学研究室訪問参加企業のフォローアップを通じて研究会活動への展開の可能性探索や新たな研究会の立上げを検討した。

ア 広島県照明光通信技術研究会

技術シーズ発掘事業として実施した大学研究室訪問（近畿大学 藤本研究室/H20.8.4）のテーマ「照明光（LED 等）通信利用技術」について、産業技術への応用及び県内の産業振興等を目的として、照明光通信技術の応用を幅広く検討した。〔平成20年度研究会設立〕

参画機関：33（産：29，学：1，官等：3）

開催日	内 容	参加者
H23.5.31	○講演「可視光通信～技術と応用」 日本電気(株) 組込システム企画本部 マネージャー 三留 幸夫 ○報告「藤本研究室における最近の研究成果について」 近畿大学工学部 電子情報工学科 教授 藤本 暢宏	20名
H24.1.26	○講演「第5世代光源とWEBISの歴史～可視光通信の可能性」 (株)片上鉄道 森岡 誠治 ○意見交換等	17名

イ 広島県画像処理活用研究会

広島県立総合技術研究所の複数の技術センターにまたがる横断研究プロジェクトの研究成果を活用し、会員相互の交流や研鑽を行なう場を設け、視検査を自動化・省力化して検査品質の向上、検査時間短縮、コスト削減を図り、輸送用機械、一般機械、電気機器、食品など幅広い業種への成果普及を図るため、本研究会を設立し、運営している。〔平成20年度研究会設立〕

〔参画機関：135（産：118，学：6，官等：11）〕

開催日	内 容	参加者
H23.7.26	○特別講演「社会インフラを支える画像計測技術」 (株)明電舎 開発統括部 部長 恩田 寿和 ○技術紹介 ①「マルチカメラによる新しい画像処理システム」 (株)ビュープラス 代表取締役 桑島 茂純 ②「赤外線サーモグラフィについて」 NECAvio赤外線テクノロジー(株) 国内営業部 岡山営業所担当 小泉 敦資 ○技術・機器展示（技術紹介の技術内容を含む、製品等をミニ展示） ・(株)ビュープラス ・NECAvio赤外線テクノロジー(株) ・シナノケンシ(株) ・(株)モリテックス ・環境電子(株) 他	66名
H23.11.25	○講演 ①「画像処理を用いた運転支援技術」 (株)豊田中央研究所 情報エレクトロニクス研究部 部長 二宮 芳樹 ②「成功する目視検査を目指して」 香川大学工学部 知能機械システム工学科 教授 石井 明 ○会員企業の技術紹介 ・「レーザースキャニングによる自動車部品外観検査装置」 シグマ(株) レーザー傷検査装置事業室 室長 江崎 泰史	49名
H24.3.2	○講演「製造プロセスにおける画像処理の役割とあるべき開発の姿」 住友化学(株) 生産技術センター 生産加工技術グループ 主席研究員 広瀬 修 ○会員企業の技術紹介 ①「想定外にも対応可能な画像処理を目指して」 MH I ソルテック(株) 三原技術部 交通メカトロニクス技術課 主管 池田 弘昭 ②「ステレオビジョンモジュールのご紹介」 富士通九州ネットワークテクノロジー(株) 第一開発統括部 第二技術部 永野 裕二 ③「新たな画像処理手法と装置のご紹介」	60名

	(株)サンゲン 取締役営業部長 安藤 徹哉 ○展示による紹介 ①「在宅・介護施設における要介護者の見守りとベッドからの転落事故防止システム」 (有)はるかぜ 代表取締役 黒川 義之 ②「動作解析ソフトウェア ダートフィッシュソフトのご紹介」 (株)ジツタ中国 代表取締役 實田 泰之	
--	--	--

ウ 炭素繊維複合材料利用研究会

広島県内の自動車関連産業等を中心とする企業・大学・県立研究機関といった産学官が集結し、技術に関する交流や研鑽を行なう場を設け、軽量で高強度な炭素繊維複合材料の自動車部品や一般産業機械部品等への適用を通じて、参加企業の活性化と発展に貢献することを目的に、広島県立総合技術研究所と連携しながら、本研究会を運営し、低コストの素材や加工技術の実用化を検討する。〔平成19年度研究会設立〕

〔参画機関：159（産：146，学：4，官等：9）〕

開催日	内 容	参加者
H23. 11. 27	○研究等発表 ①「炭素繊維四軸織物複合材料の開発について」 岡山県工業技術センター 研究開発部 高分子グループ 技師 甲加 晃一 ②「縫合技術を用いた複合糸と熱可塑性炭素繊維強化複合材料の開発」 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 主任研究員兼技術課長 藤田 浩行 ③「ぎふ技術革新センターの取組について」 岐阜県 総合企画部 研究開発課 技術主査 小川 行宏 ④「CFRTP製自動車用部品の開発」 広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 炭素繊維PT 副主任研究員 松永 尚徳 ○ポスターセッション	105名
H24. 2. 2 9	○講演会 ①「炭素繊維関連の研究開発プロジェクトについて」 経済産業省 製造産業局 繊維課 繊維企画官 奥村 浩信 ②「海外最新FRP成形技術紹介（OOA・FRTP）」 (株)カドコーポレーション 代表取締役社長 倉谷 泰成 ○研究発表 ・「CFRTP製自動車部品開発の取組み」 広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 炭素繊維PT 室長 山下 弘之 副主任研究員 松永 尚徳	119名

エ 広島県金属防食技術研究会

技術シーズ発掘事業として実施した大学研究室訪問（広島工業大学 工学部 機械システム工学科 王栄光准教授研究室/H23. 8. 4 開催）のテーマ「防食を中心とした金属材料の表面改質と機能性評価」について、産業技術への応用及び県内の産業振興等を目的として、材質のサビや腐食発生メカニズムを解明し、新たな技術開発へ幅広く検討した。〔平成23年度研究会設立〕

〔参画機関：47（産：43，学：1，官等：3）〕

開催日	内 容	参加者
H24. 1. 2 6	○基調講演「腐食・防食の基本と実際」 (株)材料・環境研究所 代表取締役 長野 博夫(元広島大学大学院工学研究科教授) ○意見交換、話題提供 ・「王研究室の腐食防食について」 広島工業大学 工学部 機械システム工学科 准教授 王栄光	59名

3 経営革新の促進

(97,149 千円)

(1) 取引先開拓の支援

(23,278 千円)

① 広域取引情報収集提供事業

(県 8,425 千円)

ア 下請取引あっせん（受注量の確保，発注の開拓，登録の促進）

県内中小企業への受注の拡大を図るため，積極的な発注開拓を行い，取引先の紹介を希望する企業にあっせんを行った。

発注登録数 (内新規)	受注登録数 (内新規)	発注開拓件数	あっせん件数	成立件数	成立金額(千円)	企業訪問件数
610 (4)	2,039 (31)	299	1,412	41	219,362	1,116

(注) ③緊急下請取引発注開拓事業によるものを含む。

イ 受注体制のサポート強化

県内中小企業の販路開拓を支援するため，専門調査員1名を配置し，80件の企業を訪問し，情報収集・提供を行うとともに，経営・技術相談に応じ，県内中小企業の経営基盤強化を図った。

ウ ビジネス・マッチング・ステーション（BMS）の活用促進

会員企業の企業情報，発注案件情報，受注希望情報を閲覧できるほか希望条件に応じた企業を検索することができる(財)全国中小企業取引振興協会の取引マッチングシステム（全国の登録企業数23,910社）を活用することにより，取引拡大を推進した。広島県内企業の登録企業数は443社で，23年度は，発注企業5社、受注企業9社，が新規登録を行った。

エ 受発注情報の提供

呉，三原，府中，東広島商工会議所等関係機関に対して受発注情報を毎月1回の情報提供を行った。

オ 取引改善講習会の開催

受・発注企業間の取引適正化を図るために「下請代金支払遅延等防止法」の啓発に係る講習会を開催した。

開催日	場所	参加者数
平成23年6月16日(木)	広島県情報プラザ(半日)	160名
平成23年9月8日(木)	同上(1日)	147名
平成23年11月15日(火)	備後地域地場産業振興センター(半日)	78名

② 広域取引商談会推進事業

(県 3,840 千円)

県内外の有力企業の発注案件を開拓し，広域的な受注機会の確保と新規取引先の拡大を支援する商談会を開催した。また，県外の有力企業にターゲットを絞り，高い技術力を有する県内中小企業の参入を支援するため，個別発注企業を対象とする商談会を実施した。

広域取引商談会の開催状況

第1回 ダイハツ九州㈱個別商談会

開催時期	平成23年6月7日（火）～8日（水）
開催場所	県内企業訪問（東広島市他）
参加企業	発注企業1社 受注企業21社
商談件数	21件（内折衝中4件）

第2回 広島地区取引商談会（名称：「緊急広域取引商談会ひろしま」）

開催時期	平成23年7月26日（火）
開催場所	ホテルグランヴィア広島（広島市）
参加企業	発注企業44社 受注企業107社
商談件数	298件（内成約5件20,796千円/折衝中143件）

第3回 中国ブロック広域合同商談会

開催時期	平成23年9月8日（木）
開催場所	ホテルモナーク鳥取（鳥取市）
参加企業	発注企業40社 受注企業115社 （広島26社，鳥取25社，島根20社，岡山36社，山口8社）
商談件数	378件（内広島分90件/成約2件2,000千円/折衝中48件）

第4回 三菱重工業㈱長崎造船所個別商談会

開催時期	平成23年9月28日（水）
開催場所	広島県情報プラザ（広島市）
参加企業	発注企業1社 受注企業16社
商談件数	16件（内折衝中6件）

第5回 福岡地区取引商談会

開催時期	平成23年9月29日（木）
開催場所	ホテルセントラーズ博多（福岡市）
参加企業	発注企業9社 受注企業27社
商談件数	68件（内成約1件600千円/折衝中39件）

第6回 福山地区取引商談会

開催時期	平成23年12月9日（木）
開催場所	福山ニューキャッスルホテル（福山市）
参加企業	発注企業29社 受注企業79社
商談件数	214件（内成約4件1,620千円/折衝中96件）

第7回 (株)T A I Y O山口工場個別商談会

開催時期	平成23年12月13日(火)
開催場所	(株)T A I Y O山口工場(美祢市)
参加企業	発注企業1社 受注企業6社
商談件数	6件(内折衝中6件)

第8回 大阪地区取引商談会

開催時期	平成24年2月8日(水)
開催場所	大阪ガーデンパレス(大阪市)
参加企業	発注企業20社 受注企業32社
商談件数	115件(内折衝中115件)

第9回 (株)京製メック個別商談会

開催時期	平成24年2月22日(火)
開催場所	(株)京製メック(国東市)
参加企業	発注企業1社 受注企業7社
商談件数	7件(内折衝中6件)

③ 緊急下請取引発注開拓事業

(県 11,013千円)

県内中小企業の受注量を確保するため、3名の発注開拓員を配して発注開拓機能を強化するとともに、県内中小企業への巡回訪問を行い、最新情報を収集して迅速な取引あっせんを促進した。

単位：件、千円

発注開拓件数	あっせん件数	成立件数	成立金額(千円)	企業訪問件数
81	412	14	97,101	867

④ 下請かけこみ寺

下請取引の適正化を推進するため、下請取引上の悩みを抱える県内中小企業に対して、今年度においては150件(内弁護士無料相談4件)の相談・助言等を行っている。

また、下請適正取引等ガイドラインの説明会を開催し、下請適正取引等推進のための普及啓発を行った。

開催日時	対象	参加者数
平成23年9月3日(土)	西日本再生バッテリー事業協同組合	18名
平成23年10月11日(火)	リョービ関連工業協同組合	25名
平成23年11月11日(金)	広島県印刷工業組合	25名
平成23年11月15日(火)	広島安全施設業協同組合	77名

(2) 情報化の支援

(20,839 千円)

① インターネットによる各種支援情報等提供事業

(県・自 20,839 千円)

インターネットを活用した情報発信機能の向上を図るため、行政や支援機関等と連携した情報提供を行う。

② 情報誌等発行事業

本財団が実施する各種支援施策や企業等が必要とする情報等を掲載した広報誌「産振構ニュース」「事業利活用案内」等を発行し、企業等へ情報提供を図るとともに、財団事業の積極的な利用を促進する。

○ 産振構ニュースの発行 実績：6月30日、9月30日、12月30日、3月31日

(3) 産業人材の育成

(42,831 千円)

① 価値創成人材育成事業

(県 25,178 千円)

県内ものづくり産業の競争力維持・強化を図るため、製造事業者等が用いるコスト低減、機能向上による価値創成活動（VE活動）の知見を有する企業OB人材等のVE活動アドバイザーを配置し、自動車部品サプライヤーを中心とした県内中小製造事業者に対してVE活動の普及啓発や人材育成業務を無料で実施し、ベンチマーキングセンターと価値創成活動を両立させることで、広島県内の中小企業の継続的な発展を促進した。

ア VE活動アドバイザー等の配置

平成21年9月より、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター内にVEセンターを設置し、VEセンターにVE活動アドバイザーを3名、カーエレクトロニクス推進センターに運営管理スタッフを1名配置し、VEセンターの運営を行った。

イ VEセンターの運営

自動車部品サプライヤーでのVE活動現地指導、ベンチマーキングセンターでのVE活動指導、中小製造事業者からのVEに関する相談対応などを実施した。

〔平成23年度企業訪問指導状況〕

区 分	期 間	内 容
C社 (産業用機械製造業) *昨年度からの継続案件	H22.12.21～ H23.9.2	製造現場における品質管理体制の現状診断、5S推進と品質管理改善計画を提案、製品VE活動展開法について指導、中間管理職への目標管理制度導入の提案と計画作成指導
D社 (画像処理印刷サービス業)	H23.5.2～ H24.3.12	画像投影装置用部品の鏡面仕上げ加工業者の紹介、加工テストの進め方支援
E社 (配線器具製造業)	H23.8.24～ H24.3.19	改善活動支援ニーズ調査、製造現場の現状診断、現場レイアウト改善と作業改善及び配膳のJIT化で生産性向上と仕掛け削減
F社 (自動車部品製造業)	H23.11.22～ H24.3.26	溶接ジグのVE設計、材料歩留まり、組立の同期化等で資材・製造コスト低減

*平成21～22年度において2社を訪問指導(成果:コスト低減,省スペース,段替え時間短縮等)

〔平成 23 年度ベンチマーキング活動状況〕（再掲）

ベンチマーク車両	ベンチマーク期間
日産リーフ（ＥＶ）	H23. 12. 12～H24. 3. 16

ウ VE基礎セミナーの開催

VEの基礎知識を学び、VE実施手順を演習によって実践的に学習することができ、VEの創造的思考により付加価値の高い製品・サービスを生み出し、企業の利益に貢献することを目的としたVE基礎セミナーを実施した。

〔平成 23 年度VE基礎セミナー開催状況〕

区分	開催日	場 所	受講者
第 1 回	平成23年 7月25日・26日	広島県情報プラザ研修室 (広島市中区千田町3-7-47)	40名 (18社)
第 2 回	平成23年 10月27日・28日	株式会社今西製作所 会議室（出張セミナー） (広島市東区矢賀新町5-7-17)	14名 (1社)
第 3 回	平成23年 11月10日・11日	県立総合技術研究所東部工業技術センター研修室 (福山市東深津町3-2-39)	24名 (16社)
第 4 回	平成23年 12月19日・20日	東友会協同組合 会議室 (広島市南区大州5-3-33)	25名 (15社)
第 5 回	平成24年 2月23日・24日	県立総合技術研究所西部工業技術センター研修室 (呉市阿賀南2-10-1)	16名 (12社)

＊平成 21～22 年度において計 6 回開催〔受講者：延べ 179 人（82 社）〕

② 成長産業人材養成等支援事業

（国 8,695 千円）

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」（略称：企業立地促進法）に基づき、地域が、主体的かつ計画的に行う企業立地の促進や新たな雇用創出、付加価値額増加が期待される地域産業集積の形成及び活性化のための取組を支援するため、誘致等対象産業のニーズを踏まえ、特定の集積分野において、企業立地又は事業高度化につながる地域における高度な人材養成や人材の確保のための研修等を中国地域の産業支援機関等と広域的に連携して実施した。

【○印：実施機関】

区 分		次世代 自動車等	R T (ロボット)	航空機	L E D
鳥取	(地独)鳥取県産業技術センター				○
島根	(公財)しまね産業振興財団				○
岡山	(財)岡山県産業振興財団	○	○	○	
広島	(公財)ひろしま産業振興機構	○		○	○
	(株)広島テクノプラザ	○			○
	(株)広島ソフトウェアセンター		○		
山口	(財)やまぐち産業振興財団	○	○	○	○

ア 次世代自動車等産業分野（中国地域次世代自動車等開発人材養成事業）

自動車の電動化技術開発や自動車部品製造に不可欠な開発要素技術の分野研修として「C A E」，「モデルベース開発（M B D）」，「E M C」，「3次元C A D」に関する研修を横断的な連携を行いながら実施している。また，次世代自動車開発の高度化促進を目的とした公開講座を実施機関が協働して開発し，共通テーマとして各個別分野研修のカリキュラムに組み込み，実施した。

【実施機関：（財）岡山県産業振興財団，（公財）ひろしま産業振興機構，（株）広島テクノプラザ，（財）やまぐち産業振興財団】

（ア）モデルベース開発（M B D）人材育成研修

〔設計・解析研修（社会人・学生合同）〕

実施期間	平成23年8月～9月（6h×8日間）		
実施場所	近畿大学 次世代基盤技術研究所	参加者	25名
	福山大学 社会連携研究推進センター		3名
内 容	1. モデルベース開発の概論，運動力学理論/制御工学理論 （講師：近畿大学 竹原教授）		
	2. MATLAB/Simulink操作演習（講師：近畿大学 友國講師） 3. 制御系設計Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ （講師：広島大学 山本教授，川田准教授，中本助教） 4. オープンソースの活用（講師：広島大学 大野准教授）		

〔システム検証研修（社会人）〕

実施期間	平成23年9月～10月（6h×4日間）		
実施場所	近畿大学 次世代基盤技術研究所	参加者	9名
	福山大学 社会連携研究推進センター		4名
内 容	1. 制御システムの検証Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（講師：福山大学 香川教授，沖准教授） 2. システム工学概論，制御システム開発事例，個別システム開発への応用 （講師：広島市立大学 大場教授，近畿大学 竹原教授 他）		

〔公開講座〕

実施日時	平成23年11月11日（金） 13：00～17：00		
実施場所	TKP広島シティセンター	参加者	52名
内 容	1. 機能安全規格（ISO26262）への対応 （講師：日本アイ・ビー・エム(株) 根城 寿 氏 鈴木 尚志 氏） 2. メカトロニクスの効率的開発 （講師：(株)電通国際情報サービス 友安 大輔 氏， MathWorks Japan 宅島 章夫 氏， エムエスシーソフトウェア(株) 山崎 雄一 氏）		

イ 航空機関連分野（中国地域航空機関連産業活性化人材養成等事業）

航空宇宙産業へ参画するために不可欠な分野を強化すべく、横断的な連携を行いながら人材育成を実施した。

【実施機関：（財）岡山県産業振興財団，（公財）ひろしま産業振興機構，（財）やまぐち産業振興財団】

〔公開講座〕

実施日時	平成24年1月17日（火） 13：30～16：30		
実施場所	広島県情報プラザ	参加者	28名
内 容	○ 航空機産業への進出及び高度化促進 航空機分野で要求される品質保証の概要とその実態，社内システムの構築 （講師：日本検査キューエイ㈱ 高瀬 敏男 氏）		

〔実践研修〕

実施期間	平成24年2月21日（火）～22日（水）（5h×2日間）		
実施場所	広島県情報プラザ	参加者	15名
内 容	1. 航空機及び関連防衛分野の品質マネジメントシステム 2. JISQ9100受審の準備 （講師：日本検査キューエイ㈱ 高瀬 敏男 氏）		

ウ LED関連分野（中国地域LED産業活性化人材養成事業）

LEDを利用した応用製品開発を促進するための高度な技術ポテンシャルを持つ技術者を養成するため「光学設計／評価」，「放熱設計／評価」，「回路設計／EMC対策」，「器具設計／評価」に関する研修を横断的な連携を行いながら実施した。

【実施機関：（地独）鳥取県産業技術センター，（公財）しまね産業振興財団，㈱広島テクノプラザ，（公財）ひろしま産業振興機構，（財）やまぐち産業振興財団】

〔技術研修〕

実施期間	平成23年11月30（水）～平成23年12月2日（金）（6h×3日間）		
実施場所	広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター	参加者	22名
内 容	1. 光学設計実習 （講師：サイバネットシステム㈱ 小林 正史 氏） 2. 形状設計実習 （講師：サイバネットシステム㈱ 石田 智裕 氏） 3. 熱解析実習 （講師：㈱富士通九州システムズ 野村 征爾 氏）		

〔連携研修〕

実施期間	平成24年2月7日（火） 13：00～17：00		
実施場所	広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター	参加者	18名

内 容	1. 積分球の精度 (講師：鳥取県産業技術センター 志賀 寿 氏) 2. LED照明設計のための光学シミュレーションの活用 (講師：㈱ベストメディア 岩谷 秀一 氏) 3. 温度計測システムによるLED照明測定事例 (講師：島根県産業技術センター 小松原 聡 氏) 4. 熱シミュレーションを利用したLED製品設計について (講師：広島県総合技術研究所 東部工業技術センター 宗廣 修興 氏)
-----	---

③ 中小企業大学校広島校運営協力事業 (県 8,958 千円)

中小企業の経営者、後継者及び幹部職員等の人材育成を通じて、本県中小企業の振興に大きな役割を果たしている中小企業大学校広島校に本財団職員を派遣し、中小企業の人材育成を支援している。

○ 派遣人員：2名

(4) 異業種交流の促進 (2,000 千円)

① 広島県異業種交流連絡協議会の運営 (県 1,700 千円)

県内6つの異業種交流グループ(延べ226社)がお互いの経営資源を持ち寄って交流し、その補完効果と相乗効果によって自社の経営資源を高め、総合的な経営力の強化が図られるよう支援を行った。

回数	開催日	内 容	参加者数
1回	H23.5.9	○講演会『放射線の健康影響について』 講師：国立大学法人広島大学 原爆放射線医科学研究所 所長 神谷 研二 氏	27名
2回	H23.10.18	○県外企業見学会 (㈱安川電機(北九州市)，㈱西部技研(福岡県古賀市))	18名

② 異業種交流グループの支援 (県 300 千円)

次の2つの異業種交流グループの運営を行い、会員企業の経営力の向上のために、業種の垣根を越えて、広く情報交換や視察、学習の場を設けた。

ア 広島県異業種交流サロン(42社)

回	開催日	内 容	参加者数
1回	H23.6.9	○講演会『名水とお酒と環境』 講師：広島国際学院大学 工学部長 佐々木 健 氏	21名
2回	H23.7.6	○県内企業見学会 (㈱ギケン，循環型社会きなり村)	13名
3回	H23.9.22	○企業発表会「自社のPR・最近取組みの新事業，新技術」 6社	26名
4回	H23.12.8	○講演会『がんの知識とその予防』 講師：鳥取大学理事・副学長 井藤久雄 氏	21名

5 回	H24. 1. 24	○新春講演会『アイデア鉄道 フラワー長井線』 講師：山形鉄道(株) 代表取締役社長 野村浩志 氏	26 名
6 回	H24. 3. 27	○講演会『中小企業は「革新」と「創造」で不況を乗り越れ ～今企業経営者がなすべきこと～』 講師 立教大学 経済学部 教授 山口義行 氏	30 名

イ 自立研究会（18 社）

回	開催月日	内 容	参加者数
1 回	H23. 7. 22	○研究開発検討会	12 社
2 回	H23. 8. 27	○研究開発検討会（現場からの意見及び感想）	12 社
3 回	H23. 10. 14	○第3回研究開発製品検討会（セミナー） 講師：コンサルティング・ライフプランナー 稲垣 耕治	10 社
4 回	H23. 11. 18～20	○「じばさんフェア2011」 場所：福山ローズコム	4 社
5 回	H23. 12. 16	○工場見学 「ユーテクノ(株)」本社工場・福山市箕島町 ○第4回研究開発検討会 講演会 「介助器具の今後の展望と現状」 講師：県立広島大学保健福祉学部 教授 大塚 彰	12 社
6 回	H24. 2. 16～18	○「海外工場視察」 in 台湾 中国造船公司，アパレル縫製工場	6 社
7 回	H24. 3. 8	○設立20周年記念講演会 「福山城の威容とその役割」 講師：広島大学大学院文学研究科 教授 三浦 正幸	14 社

（５）地域活性化の推進

（8,201 千円）

① 中心市街地商業活性化推進事業

（自 8,201 千円）

中心市街地の活性化を図るため，中心市街地の活性化法に基づき商工会，商工会議所，特定会社及び公益法人が行うソフト事業に対して助成を行った。

- 中心市街地商業活性化基金利息・・・8,196 千円（前年度繰越金1,500 千円含む）
（基金：10 億円）
- 助成団体・・・・・・・・・・3 団体（4,534 千円）

（単位：千円）

NO	団 体 名	助 成 額 (総事業費)	事 業 内 容
1	東広島 商工会議所 (1 年次)	950 (1,349)	特定民間中心市街地活性化事業について協議し，具体的な計画を作成した。 1 まちづくりの方向性検討 協議会により，商業ゾーン，市民の憩いのゾーン，観光ゾーンについて，それぞれ東広島の都市計画に併せた街づくりの提案を行った。 2 具体的民間事業の構想作成

			委託専門家および専門部会により具体案を作製した。 3 構想の検討 協議会により構想の取りまとめを実施した。
2	五日市商工会 (3年次)	2, 9 5 4 (3, 4 4 8)	これまでの3商店街の魅力化と一体的な商業地形成に結びつく計画を基に、それぞれの商店街で具体化方策を検討し、五日市中心市街地の商業ゾーンの連携を図る計画案を作成した。 1 協議会・ワーキング会議等の開催 ①商業ゾーン別の環境整備計画案の作成 ②事業の具体化方策の検討 ③3商業ゾーンの連携計画案の作成 2 広報活動 ①ニュースレターの発行 ②ホームページでの事業報告
3	(財) 府中まちづくり振興公社 (3年次)	6 3 0 (7 3 6)	多目的広場「お祭り広場」をメイン会場として、農商工が連携した府中の地域資源と農産物の販売等のイベントを実施することで、地域住民を巻き込んだ中心市街地の活性化と、新たな地域資源を発掘した。 1 『食で賑わう町づくり22』の実施 2 『ふちゅう新鮮朝市』の実施 3 『キラリン☆夜店2010』の実施
合 計		4, 5 3 4	

4 資金等の支援

(379,795 千円)

(1) 設備導入の支援

(379,536 千円)

① 設備貸与事業

(自 353,328 千円)

県内の小規模企業者が創業又は経営基盤の強化を図るために要とする設備を、本財団が機械設備販売業者から購入し、当該設備を長期かつ固定金利で割賦販売又はリースしている。

○ 貸与枠 4 億円

設備貸与申込状況（4 月～3 月末）

(金額 単位:千円)

区 分		件数	金 額	割合 (%)	前年比 (%)
内 訳	製造業	20	340,242	72.7	—
	卸・小売業	3	36,329	7.8	
	サービス業	4	57,083	12.2	
	その他	3	34,626	7.3	
合 計		30	468,280	100	155.2

(辞退を含む)

※ 平成22年度から、経営革新計画認定企業及び財務内容の優良な企業については、利率の優遇措置を設けることにより、小規模企業者の設備投資を促進している。

② 設備資金債権管理事業

(県・自 26,207 千円)

小規模企業者等に貸し付けた設備資金の定期償還、抵当権抹消業務及び未収債権の回収業務を行うとともに、未収債権の発生を未然に防止するため、貸付先企業に対して、経営状況の調査及び巡回指導を行っている。

③ 債権管理

定期償還の困難な企業の支払延期の希望に対して、当該企業の財務状況を把握し、分割納入等の助言等を行うことで、債権の回収に努めている。

平成24年3月31日現在の滞納状況は次のとおりである。

○ 設備資金 (金額単位:千円, %)

貸付残高	未収残高	滞納率
931,657	4,913	0.52

○ 設備貸与 (金額単位:千円, %)

貸付残高	未収残高	滞納率
1,075,134	99,534	8.47

※ 引き続き、貸与制度の利用拡大、関連情報の提供及び未収債権の回収に努める。

(2) 中小企業等育成資金の支援

(260 千円)

① 投資事業組合運営事業【通称：1号組合】

県内に事業所を有し、又は県内に事業所を設け事業化するため投資を希望する資本金5億円未満の企業へ投資を行っている。

平成18年で事業を終了しているが、延長した1社についてのみ24年12月末まで組合を継続。

② 研究開発型ベンチャー企業誘致事業【通称：3号組合】

広島県から投資原資資金の出捐金を受けた公的投資事業組合を活用して、本県を拠点とした事業化の意思のある県外の研究開発型ベンチャー企業へ投資を行っている。

- 出資総額 6,300 万円 これまでの投資総額:4,000 万円(23 年度の新規投資実績はなし)
- 組合期間：平成 24 年 12 月 31 日まで。

③ 企業育成型ひろしまファンド事業【通称：4号組合】

広島県から投資原資資金の出捐金を受けた投資事業有限責任組合を活用して、新事業展開（第二創業）等を目差す中小企業に対し、育成を目的とした投資を行っている。

- 出資総額 5 億円 これまでの投資総額：3 億 1,632 万円（23 年度の新規投資実績はなし）
- 組合期間：平成 27 年 12 月 31 日まで。

5 国際ビジネスの支援

(58,166 千円)

県内企業の国際ビジネスを総合的に支援することにより、県内産業のグローバル化を促進し、広島県経済の活性化を図った。

(1) 海外事務所等の運営

(負 16,486 千円)

① 海外事務所の運営管理

広島上海事務所の運営を通じ、現地訪問者等に対する便宜供与をはじめ、経済情報の収集提供（定期レポート等）、広島県のPR等の交流支援を行った。

(単位：件数，人)

区 分	情報収集・提供等	便宜供与	来 訪 者
	123	35	95
広島上海事務所 〔委託先〕 (株)チャイナワーク	・ 事務所への来訪者等に対する便宜供与等 A社【お好み焼き等食品製造機の市場性に関する情報提供、在上海お好み焼き店の紹介】、B社【中国での業務用卸販売及び小売販売に関する情報提供、マーケティング支援】、C社【中国への進出形態に関する情報・意見交換、販売先・調達先となるうる現地メーカーの情報提供】、Agri & Foods Export Frontier, Hiroshima【寧波食品博覧会事務局との連絡調整】、広島なぎさ高校【上海最新事情ブリーフィング】、広島県議団【上海経済概況のブリーフィング、中国ビジネス等に関する意見交換】、広島県商工労働局長【上海と広島県の観光協力に関する情報交換】、尾道大学【上海経済概況等ブリーフィング】、広島県国際課【広島県留学生誘致政策に関する情報交換】、広島大学【上海における産学連携企業訪問調整】、D社【上海における日本の骨董品市場のブリーフィング】、広島大学【留学生誘致活動関係情報交換】、広島銀行上海駐在員事務所【上海広友会実施協力】、広島県議団【上海事務所紹介、中国進出の留意点等のブリーフィング及び質疑応答】、中小企業基盤整備機構中国支部【中国工業団地のブリーフィング】、E社【事業の説明、中国進出に際しての意見交換、現地工場進出に係る支援】、広島銀行【工場をレンタルする際の情報交換】、広島総合卸センター【県内企業の進出状況に関する情報交換】、F社【中国進出のためのブリーフィング】G社【中国に進出している広島企業の紹介】、H社【訪日観光PRに関するブリーフィング】、広島県観光課【「元気な日本展示会」出展準備及び実施協力】等 ・ 県内企業等の個別の情報収集依頼への対応等 I社依頼：コンクリートパネルメーカーの情報提供、J社依頼：冷陰極蛍光管及び電源メーカーの情報提供、K社依頼：インキ製造メーカーの情報提供、L社依頼：上海のレンタルオフィスの情報提供、F社依頼：人材派遣会社の情報提供、C社依頼：企業リスト提供、Agri & Foods Export Frontier, Hiroshima依頼：中国の日本食品への輸入規制にかかる情報提供、M社依頼：ALC 板材カタログ及びサンプル入手・送付、N社依頼：中国内資企業設立にかかる規制等の情報提供、O社依頼：中国の国際食品見本市の情報提供、P社依頼：中国の商標登録等の情報提供、Q社依頼：中国の事務所駐在員に関する法的処理等の情報提供、R社依頼：ガソリンタンク等の技術基準について情報提供、S社依頼：中国のテレビ局（日本の観光番組放映）について情報提供、E社依頼：コンサル契約締結に向けた見積書の提出、E社依頼：中国進出の際のコンサル会社、設備輸入税について情報提供、C社依頼：中国のパワーモジュール製造メーカーの情報提供、T社依頼：中国で野菜を自社栽培している企業のリスト情報提供 U社依頼：中国における資金調達、経理事務のアウトソーシングの可能性の情報 等		

② 海外ビジネスサポーターの設置

現地情報の収集等、海外拠点のネットワーク化を図るための海外ビジネスサポーターを設置し、現地経済情報の収集・提供（定期レポート）を行った。

エリア	国・地域名	都 市	海外ビジネスサポーター
ア ジ ア	シンガポール	シンガポール	碓 知子 氏
	中 国	大 連	劉 瑛 氏
		重 慶	吉川 孝子 氏
	台 湾	台 北	皆川 榮治 氏
	ベトナム	ハノイ	中川 良一 氏
		ホーチミン	レ・ティ・タン・ビン 氏
	タ イ	バンコク	富永 勇三 氏
	イ ン ド	ニューデリー	高野 一弘 氏
北 米	アメリカ	ニューヨーク	今泉 江利子 氏
ヨーロッパ	ス イ ス	ジュネーブ	佐多 直彦 氏
	ロ シ ア	モスクワ	岩本 茂 氏

（２）ビジネスマッチングの促進

（18,452 千円）

① 商談・視察派遣事業

（負・会費 778 千円）

海外の企業や経済団体等との交流等を通じてビジネスマッチングの推進を図るため、商談・視察団の派遣を行った。

事業名	派遣先	日程	参加者数
インドネシア視察研修 団派遣 （ジェトロ共催事業）	インドネシア（ジャカル タ、スラバヤ、ジョグジャ カルタ）	平成 23 年 11 月 6 日 （日）～11 月 13 日（日）	19 社、24 名 （ジェトロ、事務局 を含めて 30 名）

② 海外販路開拓・拡大支援事業

（国・負・会費 12,891 千円）

県内企業と海外バイヤーとの商談会や物産展を通じて、ビジネスマッチングの機会の提供と支援を行った。

事業名	実施期間	参加企業数
香港フードエキスポ出展 （経済産業省補助事業）	平成 23 年 8 月 11 日（木）～8 月 13 日（土）	16 社
ソウル商談会 （経済産業省補助事業）	平成 23 年 10 月 26・27 日（水・木）	11 社
バイヤー（中国・米国）招聘事業 （ジェトロ共催事業）	平成 24 年 2 月 17 日（金）	14 社
ジャカルタ商談会 （経済産業省補助事業）	平成 24 年 2 月 28・29 日（火・水）	14 社
タイ食品販路開拓商談会 （ジェトロ共催事業）	平成 24 年 3 月 12 日（月）～15 日（木）	4 社

③ 商談・視察受入事業

(負 90 千円)

海外からの経済交流団等を受け入れ、意見交換や県内企業との交流促進及びビジネスマッチング機会の提供を行った。

名 称	時期・場所	内 容	訪日団	参加者数
大邱広域市代表団 の受入れ	5月4日(水・祝) 豆匠広島本店	○ 広島と大邱広域市 との経済交流に關する協議	金範鎰大邱広域市 長ほか9名(広島総 領事館3名含む)	14人
駐日フィンランド 大使館参事官	6月29日(水) 広島県情報プラザ	○ 広島のビジネス環 境調査／フィンラン ド科学技術のPR	レイヨ・ムンター 参事官 1人	4人
ハナム省訪問団	9月29日(木) リーガロイヤルホ テル広島	○ セミナー(投資環 境等／共催)	ロック ハナム省 共産党書記長ほ か24人	65人
JICA 研修員訪問団 (インドネシア)	10月20日(木) 広島県情報プラザ	○ 「日本の地方信用 保証制度実施機関と 地方自治体・地域経 済の關係」講義	協同組合・中小企 業省副大臣パリ スマン シナガ ほか13名	17名

④ 海外販路開拓プロジェクトコーディネーターの配置

(県 4,693 千円)

国際ビジネス支援センター内に販路開拓プロジェクトコーディネーターを配置し、県内企業の海外販路開拓を支援した。

⑤ 海外取引フォーラム運営事業(海外取引バンク)

○ 登録企業数 79社

貿易取引や海外投資を希望する県内企業情報を「海外取引バンク」として取りまとめ、インターネットを活用し海外に情報発信することにより、県内企業のビジネスチャンスの支援を行った。

(3) コンサルティング・人材育成

(5,963 千円)

① 国際化アドバイザー事業

(負・他 5,376 千円)

専門相談員として国際化アドバイザーを配置し、本財団国際ビジネス支援センターにおいて貿易及び海外進出等に関する窓口相談を行った。(毎週木曜日 13:30~17:00)

相談回数	相談企業数(延べ)	相談件数(延べ)	内 容 (件数)
48回	118社	137件	・ 輸出手続 85件 ・ 輸入手続 22件 ・ その他 30件

* 上記とは別に、広島市等主催「ビジネスフェア中四国 2012」(2月3日・4日)食品商談会 コーディネート支援実施。

※ 海外ビジネス定期相談会(広島開催)、中国ビジネス定期相談会(福山開催)実施。

(独)中小企業基盤整備機構、広島商工会議所、福山商工会議所及び(株)広島銀行と協力し、中国・タイ・ベトナム・インド等のビジネスに関する相談会を開催した。

- ・相談企業数(延べ) 84社
- ・相談対応者：(独)中小企業基盤整備機構 国際化支援アドバイザー
- ・相談日：延べ36日(原則毎月3回 金曜日9:00～17:00)

② 国際取引実務研修事業

(他 587 千円)

県内企業の貿易実務者の養成を支援するため、国際取引実務研修を行った。

研修名	研修場所	研修期間	講 師	内 容	受講者数
国際取引実務研修	広島会場	7月26日(火) 27日(水) 28日(木)	国際化アドバイザー 塩田 靖浩 氏 (社)貿易アドバイザー協会 理事・中国四国支部長 井上 照章 氏	●国際取引実務のポイント ●書類作成演習・ロールプレイ ●ビジネス英語	49人
	福山会場	8月23日(火) 24日(水) 25日(木)			20人
計		6日間	—	—	69人

(4) 情報調査・収集提供

(3,192 千円)

① セミナー開催事業

(負・会費 722 千円)

ア セミナー 内企業の関心の高いテーマについてのセミナー等を主催又は共催により開催した。

名 称	開催日・場所	内 容	参加者数
海外ビジネスセミナー「為替相場の見通しについて」 (共催)	7月6日(水)【広島】 ひろしまハイビル21 7月7日(木)【福山】 福山商工会議所	「為替相場の見通しについて」 ～米ドルなど主要通貨の為替相場動向 バークレイズ銀行東京支店 チーフ FX ストラテジスト 山本 雅文 氏	【広島】 43人 【福山】 40人
海外ビジネスセミナー (共催)	8月2日(火) リーガロイヤル ホテル広島	「大きく変貌する新興アジア諸国のビジネス環境 と日本企業の事業戦略」 海外投融資情報財団 専務理事 廣田泰夫 氏	46人
ベトナム・ハナム投資セミナー (共催)	9月29日(木) リーガロイヤル ホテル広島	「開会挨拶」 ハナム省共産党書記長 チャン・スアン・ロック氏 「ハナム省投資環境紹介」 同省人民委員会委員長 マイ・ティエン・ズン 氏 「日系企業の進出事例」 昭和電工レアアースベトナム有限会社 社長 村上大憲 氏 「ハナム省工業団地紹介」 日越投資貿易促進局日本代表 中川 良一 氏	40人
フィリピン投資セミナー (共催)	11月11日(金) ひろしまハイビル21	「フィリピンへの進出形態・経済区〈PEZA〉」 フィリピン経済区庁長官 リリア・B・デリマ氏 「フィリピン・セブでの20年～THIの経験から」 ツネイシホールディングス(株)取締役 綿谷伸二氏 「フィリピンでの安全な会社設立方法」 イングレス・ローレル・カルテロン法律事務所 パートナー エンリコ・イングレス氏	53人

海外ビジネスセミナー「為替相場の見通しについて」 (共催)	12月12日(月)【広島】 ひろしまハイビル 21 12月13日(火)【福山】 福山商工会議所	「為替相場の見通しについて」 ～米ドルなど主要通貨の為替相場動向 JP モルガン・チェース銀行 チーフ FX ストラテジスト 棚瀬 順哉 氏	【広島】 39 人 【福山】 33 人
海外ビジネスセミナー	12 月 15 日(金) 広島情報プラザ	「中国企業とのビジネススタート！ 中国企業との契約について」 三浦法律事務所 中国法アドバイザー 葛虹 氏	39 人

イ 平成 23 年度国際賛助会員の集い

国際賛助会員の相互交流や情報交換を目的に交流の集いを開催した。(いずれも「中国・ベトナム・インドビジネスセミナー」と同日に開催し、セミナー講師との交流も図った。)

○ 広島会場：9 月 6 日(火) 17:40～19:00、ホテルセンチュリー 2 1 広島

参加者数 47 企業等、56 人

○ 福山会場：9 月 7 日(水) 17:40～19:00、福山ニューキャッスルホテル

参加者数 32 企業等、40 人(福山商工会議所国際ビジネス研究会との共催)

② 海外情勢報告等事業

(負・会費・他 671 千円)

海外拠点事務所員・ビジネスサポーター等による海外の最新情報の報告や、拠点毎の情報交換会を開催した。

名 称	開催日・場所	内 容	参加者数
中国・ベトナム・インド・ビジネスセミナー	9 月 6 日(火) 【広島会場】 ひろしまハイビル 21 【福山会場】 9 月 7 日(水) 福山商工会議所	○中国セミナー「失敗しないための中国の税務・会計のポイント」 有限責任監査法人トーマツ福岡事務所 中国室パートナー 只隈 洋一 氏 ○ベトナムセミナー「中小企業のためのベトナムビジネス」 (独)中小企業基盤整備機構 経営支援専門員 加藤 洋一郎 氏 ○インドセミナー「インド市場への挑戦 - 参入戦略」 (公財)ひろしま産業振興機構 海外ビジネスサポーター 高野 一弘 氏	【広島】 47 人 【福山】 41 人
中国・インドネシア・タイ・ビジネスセミナー	2 月 20 日(月) 【広島会場】 ひろしまハイビル 21 【福山会場】 2 月 21 日(火) 福山商工会議所	○中国セミナー「激動！ 転換期を迎える中国経済とビジネス - 最新の市場動向」 (株)チャイナワーク 代表取締役社長 孫 光 氏 ○インドネシアセミナー「インドネシアの最新投資情勢」 (独) 中小企業基盤整備機構 国際化支援センター 国際化支援シニアマネージャー 牛腸 純和 氏 ○タイセミナー「海外進出企業に求められるリスクマネジメント ～タイ洪水被害を教訓として～」 東京海上日動リスクコンサルティング(株) ビジネスリスク事業部 主席研究員 深津 嘉成 氏	【広島】 125 人 【福山】 45 人

③ 情報誌等発行事業

(負・他 1,508 千円)

ア 海外情報収集提供活動

海外事務所、海外ビジネスサポーター等から経済情報を収集し、企業等へ情報提供を行った。

イ 情報誌等の発行

各種海外経済情報等を取りまとめた情報誌を発行し、賛助会員等に対して海外ビジネスサポーターの海外レポート等の情報提供を行った。

○ HAPEE MAIL

- 4月号 ・ツネイシホールディングス(株) 篠原 幸一 常務取締役「インド ODA への取り組み」
- 5月号 ・(公財)ひろしま産業振興機構 川北 正明 理事「企業・団体様を起点として」
- 6月号 ・広島経済同友会 久保 行夫 事務局長「お国柄ギャップ小話」
- 7月号 ・株式会社オガワエコノス 小川 勲 代表取締役社長(広島県資源循環協会会長)
「大いなる自然への畏敬の念」
- 8月号 ・株式会社メンテック 船本 聡武 専務取締役「輝く日々」
- 9月号 ・広島市 松井 一實 市長「広島こだわりの産品を国内外へ」
- 10月号 ・チャイナワーク(株) 孫 光代表取締役社長「日本被災地復興への思い」
- 11月号 ・三次市 増田 和俊 市長「尾道松江線開通のチャンスを活かす」
- 12月号 ・中国経済連合会 山下隆 会長(中国電力株式会社会長)
「活力と魅力のある中国地方を目指して」
- 1月号 ・フマキラー株式会社 大下 俊明 代表取締役会長
「日本に、そして世界に、安心と快適を。」
- 2月号 ・社会福祉法人 IGL 学園 永見 憲吾 理事長
「アジアの中の日本」
- 3月号 ・在大阪インドネシア共和国総領事館 イブヌ・ハディ 総領事
「世界景気減速をよそに堅調な景気が続くインドネシア」

ウ 海外進出企業ダイレクトリーの更新発行

県内企業の海外進出状況を調査し、海外事業所等の概要(名称、所在地、連絡先等)をダイレクトリーとして取りまとめ、発行した。(9月発行・800部)

④ 国内ネットワーク事業

(負・会費 291 千円)

ア 関係機関との連携

a 国際ビジネス促進協議会

県内中小企業の国際ビジネス促進を支援する関係機関による「国際ビジネス促進協議会」に参加。(事務局：広島県商工労働局海外ビジネス課)

- ・第1回(6月21日(火))：平成22年度事業計画について
各機関との事業実施の連携について等

b 中国地域中小企業海外展開支援会議

中国地域の中小企業の海外展開を円滑に支援するため、関係機関に呼びかけて開催された「中国地域中小企業海外展開支援会議」に参加。(事務局：中国経済産業局)

- ・第3回[平成23年度第1回](6月29日(水))
：ワーキンググループの設置について
中小企業海外展開支援大綱等について等
- ・第1回海外販路開拓ワーキング会議/海外展開支援人材ワーキング会議(7月26日(火))

- ：海外展開企業リストについて等
- 中小機構の企業訪問の実施状況/アドバイス支援の実施状況等
- ・第2回海外販路開拓ワーキング会議/海外展開支援人材ワーキング会議（9月28日（水））
- ：海外展開企業リストについて等
- 研修プログラム（案）について等

イ 企業ニーズ調査

企業ニーズを把握するため、賛助会員企業等へのアンケート調査を実施した。

- ・調査時期：平成23年10月
- ・回答数：71企業・団体
- ・回答率：33.6%

＜アンケート結果の概要＞

- | | |
|----------------------|--|
| ○関心の高い地域 | ①中国 ②タイ ③インドネシア ④インド |
| ○関心事 | ①市場規模・動向 ②流通事情 ③日系企業の進出状況 ④労働力事情 |
| ○事務所・サポーター必要（強化必要）地域 | ①ジャカルタ（インドネシア） ②成都（中国） ③ブラジル
④チェンナイ（インド） ⑤ムンバイ（インド） |
| ○商談・視察派遣先の希望地域 | ① イ ②インド ③中国 ④ベトナム |

（５）外資系企業等の誘致

（14,072千円）

① 誘致・セールス活動

（県 327千円）

国内展示会等に出展の外国企業や日本国内に既に進出し地方への二次投資が有望な外資系企業等への誘致活動を実施した。

また、国際ビジネス支援センターを事務局として昨年度設立した広島日本香港協会を通じて、香港・中国を中心とする成長著しいアジア地域とのビジネス支援や、相互の投資拡大・経済交流を促進した。

事業内容	実施日	開催場所等	参加企業数等
総会・講演会	平成23年4月25日（月）	オリエンタルホテル広島	30社・5団体
環境関連企業招聘による商談会・講演会	平成23年7月20・21日（水・木）	リーガロイヤルホテル広島	講演会：32社8団体 商談会 県内企業5社
食品関連企業招聘による商談会・交流会	平成23年9月8日（木）	リーガロイヤルホテル広島	県内企業9社
香港フォーラム（於：香港）への参加	平成23年11月28日（月）～12月1日（木）	香港コンベンション&エキジビションセンター	5社・3団体 19名
観光関連企業招聘による視察及び商談会	平成24年3月13日（火）～16日（金）	宮島、平和公園、お好み焼き施設（広島市）、酒造工場（呉）、宿泊施設等	県内企業8社

② 環境関連ビジネス海外展開支援事業【新規】

(会費 963 千円)

広島県内の環境関連ビジネスの海外展開を支援するため、民間主導による「ひろしま環境関連ビジネス海外販路開拓協議会」を立ち上げ、中国四川省成都市における商談会等を開催するとともに、ジェトロ（日本貿易振興機構）RIT（Regional Industry Tie-Up）事業を活用して研究会及び調査事業等を実施した。

事業内容	実施日	開催場所等	参加企業数等
協議会の設立	平成 23 年 5 月 26 日(木)	広島県情報プラザ	会員数 10 社・1 団体
成都商談会	平成 23 年 8 月 24 日(水)	成都金河賓館	8 社・1 団体
ジェトロ RIT 事業 (研究会)	第 1 回: H23.9.16(金)	広島県情報プラザ	5 社・1 団体
	第 2 回: H23.12.2(金)	広島商工会議所	7 社・1 団体
	第 3 回: H24.1.19(木)	広島商工会議所	9 社・1 団体
ジェトロ RIT 事業 (海外基礎調査事業)	平成 23 年 9～11 月	ジェトロが協議会会員の要望に基づく調査を実施（調査機関に委託）	
ジェトロ RIT 事業 (専門家派遣事業)	平成 23 年 12 月 12 日(月) ～16 日(金)	ジェトロが公募により選定した専門家を四川省に派遣し、調査を実施	

③ 外国企業誘致専門員の配置

(県 12,782 千円)

国際ビジネス支援センター内に外国企業誘致専門員を配置し、外国企業の相談に応じるとともに、外国企業の誘致に取り組んだ。

6 産業振興施設等の運営

(376, 185 千円)

(1) 産業支援施設の運営

(376, 185 千円)

施設の効用を最大限発揮するとともに、管理経費の削減を図るという「指定管理者制度」の趣旨に沿った、より効果的、効率的な施設運営に努めていく。

① 産業会館管理運営事業

(自 256, 920 千円)

見本市・展示会場の機能を一層発揮させるため、施設の改修など利用者サービスの一層の向上を図るとともに、新規利用企業の誘致や施設の効率的・効果的な運営など会館の適正な管理運営に努めている。

○ 利用実績（平成23年4月から平成24年3月まで）

月別	本館・東館			西館			駐車場		合 計
	日数 (日)	件数 (件)	利用料金 収入(円)	日数 (日)	件数 (件)	利用料金 収入(円)	台数 (件)	利用料金 収入(円)	利用料金 収入(円)
4	15	13	3,345,860	14	5	4,007,920	12,375	5,897,900	13,251,680
5	18	12	2,863,400	18	9	6,520,280	10,190	4,993,550	14,377,230
6	20	19	5,803,525	20	17	6,896,295	16,300	8,347,850	21,047,670
7	25	18	8,412,675	30	20	10,611,955	18,115	9,994,150	29,018,780
8	11	16	2,767,345	16	10	5,804,195	12,224	6,570,450	15,141,990
9	30	35	7,328,910	27	18	13,293,780	18,387	10,555,200	31,177,890
10	25	21	11,702,875	28	16	14,328,215	20,625	11,675,600	37,706,690
11	27	29	9,876,120	28	24	9,446,780	21,230	11,146,100	30,469,000
12	19	19	5,563,325	20	12	6,991,585	17,245	8,517,800	21,072,710
1	24	17	5,939,035	21	13	6,005,925	11,969	6,593,600	18,538,560
2	24	22	6,311,365	24	15	10,094,385	15,001	8,430,850	24,836,600
3	24	24	6,731,545	25	11	8,337,125	20,907	10,091,500	25,160,170
計	262	245	76,645,980	260	170	102,338,440	194,568	102,814,550	281,798,970

② 産業技術交流センター等管理運営事業

(県、自 119,265 千円)

公共団体の事務室利用及び商工業者、産業関係諸団体への研修室等の貸出しなどにより、県内産業の振興に資する目的を一層増進させるため「産業技術交流センター」の適正な管理運営を行っている。併せて「県立図書館」、「県立文書館」及び「県立生涯学習センター」について、県から委託を受けて一体的な管理にあたっている。

○ 利用実績（平成23年4月から平成24年3月まで）

月別	利用件数							会場使用料 収入(円) A	駐車場収入 (円) B	A + B
	第1 研修室	第2 研修室	第3 研修室	会議室	多目的 ホール	視聴覚 研修室	計			
4	22	19	25	16	12	19	113	1,183,670	875,700	2,059,370
5	20	21	26	18	15	19	119	1,348,840	1,013,700	2,362,540
6	26	24	28	18	27	18	141	1,777,860	1,938,150	3,716,010
7	21	23	29	15	21	14	123	1,397,460	1,470,900	2,868,360
8	25	23	23	14	21	11	117	1,548,600	1,053,900	2,602,500

9	18	17	21	17	27	16	116	1,542,910	1,397,550	2,940,460
10	25	19	22	13	29	16	124	1,669,070	1,479,150	3,148,220
11	25	22	20	16	28	14	125	1,622,420	1,378,500	3,000,920
12	14	13	14	11	21	6	79	1,160,895	1,022,550	2,183,445
1	13	18	20	13	18	20	102	1,309,860	1,429,200	2,739,060
2	23	22	23	20	24	15	127	1,701,210	1,477,800	3,179,010
3	19	12	18	7	16	10	82	1,043,690	1,001,400	2,045,090
計	251	233	269	178	261	176	1,368	17,306,485	15,538,500	32,844,985